

平成28年度

2回生進級時アンケート報告書

京都大学国際高等教育院

京都大学高等教育研究開発推進センター

・高等教育教授システム研究開発部門

目 次

調査の趣旨と概要.....	1
1 学習意欲などの変化.....	4
1. 1 学習意欲の変化.....	5
1. 2 出席コマ数の変化.....	10
1. 3 授業外学習時間の変化.....	14
2 成績評価への納得度.....	17
3 「満足した科目」「不満だった科目」	19
4 全学共通科目への期待.....	24
5 期待は実現されたか.....	25
6 今後の全学共通科目への要望.....	26
7 2x2クロス表による解析.....	29
8 自由記述.....	32
8. 1 総合人間学部.....	32
8. 2 文学部.....	32
8. 3 教育学部.....	34
8. 4 法学部.....	34
8. 5 経済学部.....	35
8. 6 理学部.....	36
8. 7 医学部.....	38
8. 8 薬学部.....	39
8. 9 工学部.....	39
8. 10 農学部.....	43
【資料】平成 28 年度 2 回生進級時アンケート (KULASIS 掲載内容)	45

調査の趣旨と概要

対 象：学部新 2 回生（平成 27 年入学生対象）全員

はじめに：2 回生進級時アンケートは、平成 15 年度入学者に対して平成 16 年 4 月に行ったものが始まりである。初回の回答者は 110 名と多くはなかったが、翌平成 17 年には、高等教育推進開発センターの教育交流会プロジェクトとして、工学部と医学科の学生に対し吉田南 1 号館 106 号室で成績交付時にアンケートへの協力を呼びかけた。他の学部では学部教務でアンケートを配布した。その結果全学での回答率は 41.8% と大幅に増加したが、学部による回答率の差は経済学部 14.8% から工学部 74.7% までと大きかった。また上記プロジェクトによる統計分析も行われた。以来アンケート項目は一定のまま分析なしの集計のみが続いている。この間、平成 19 年度からは、KULASIS による回答方法を取っている。

調査の目的：学生が入学後 1 年間の大学生活の中で京都大学の教育に対してどのような感想を抱いたかについて 2 回生進級時点での意見を聞き、今後の京都大学の教育を改善・充実してゆくための重要な資料とする。

調査の概要：新入生ガイダンスの際、記入してもらった「新入生アンケート」の回答について 2 回生進級時アンケート画面を通じてフィードバックし、自分の入学当時の抱負・期待を読み返しつつ、1 年間の全学共通科目を中心とした学習を振り返って、どんなことを感じあるいは考えたかについて率直な意見を表明してもらおうと求めている。

調査方法：KULASIS（京都大学教務情報システム）上でのアンケート方式をとっている。平成 28 年 4 月、各学部新 2 回生が履修登録確認のため KULASIS にログインした際にアンケートへの協力願いを掲示し、回答フォームに入力してもらおうという方式をとった（アンケート全文は末尾に添付している）。

表 0-1 学部別アンケート提出者数・提出率

学部	在籍者数 (2016/5/1 現在)			提出者数	提出率	文理
	計	男	女			
総合人間学部	125	87	39	39	31.20%	22.80%
文学部	225	128	95	65	28.89%	
教育学部	62	34	29	11	17.74%	
法学部	336	243	94	63	18.75%	
経済学部	252	203	50	50	19.84%	
理学部	319	287	35	92	28.84%	25.71%
医学部	258	123	134	55	21.32%	
薬学部	84	59	24	33	39.29%	
工学部	983	888	96	250	25.43%	
農学部	320	220	98	75	23.44%	
合計	2,964	2,272	694	733	24.73%	

注) この項目では、文系は総人、文、教、法、経 の5学部、理系は理、医、薬、工、農 の5学部で集計している。総合人間学部を文系に含めたのは集計の都合による。

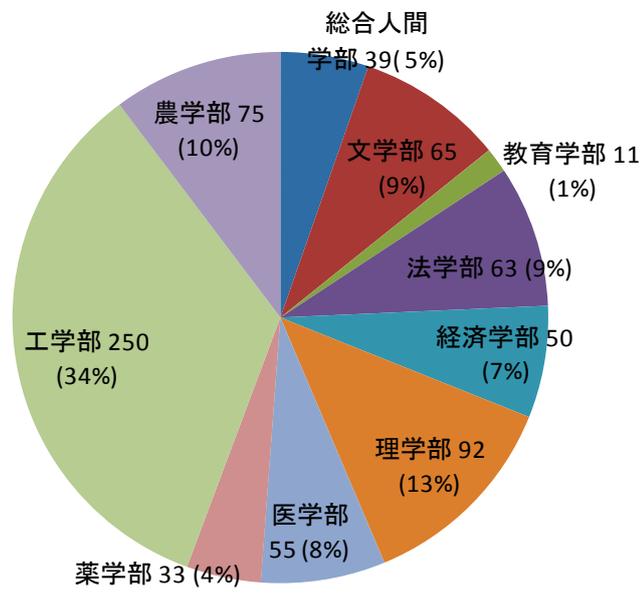
◆表 0-2 に回答者数の変遷を学部ごとに提出率で示す。提出率の比較的高い学部(薬学、総人、理学、工学)と低い学部(経済、医学、法学、教育)に分かれている。KULASIS 入力への導入により一時は全学で 40%台の回答率があったが、最近では 25%程度に落ち込んでいる。

表 0-2 学部別アンケート提出率 (経年)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	平均提出率
総人	30.1%	30.6%	36.7%	57.8%	59.2%	48.0%	54.5%	37.7%	22.5%	34.7%	20.0%	31.2%	38.6
文学	26.9%	25.6%	28.6%	50.5%	50.2%	49.8%	49.8%	41.3%	23.7%	30.4%	29.8%	28.9%	36.3
教育	34.9%	29.2%	35.5%	37.7%	37.7%	44.3%	42.6%	32.8%	23.3%	26.2%	22.6%	17.7%	32.0
法学	19.3%	16.8%	30.4%	44.1%	44.4%	42.6%	42.4%	30.2%	17.8%	31.7%	25.9%	18.8%	30.4
経済	14.8%	12.9%	25.4%	37.3%	36.3%	37.5%	42.3%	44.8%	21.3%	31.0%	24.6%	19.8%	29.0
理学	30.1%	29.9%	38.1%	49.4%	50.2%	58.0%	53.3%	45.9%	29.9%	35.2%	33.2%	28.8%	40.2
医学	39.7%	25.7%	20.1%	33.3%	37.2%	34.6%	35.3%	32.7%	15.9%	26.4%	22.1%	21.3%	28.7
薬学	25.8%	19.1%	35.6%	55.2%	57.8%	51.8%	52.3%	56.0%	30.5%	50.6%	34.5%	39.3%	42.4
工学	74.7%	33.7%	35.5%	45.6%	45.2%	44.5%	50.3%	41.5%	23.2%	36.6%	23.4%	25.4%	40.0
農学	19.5%	23.8%	34.1%	45.2%	46.1%	46.7%	50.2%	39.6%	26.6%	34.2%	32.8%	23.4%	35.2
全体	41.8%	26.5%	32.2%	44.9%	45.5%	45.2%	47.7%	40.1%	23.1%	33.9%	26.4%	24.7%	36.0

注) 各年度の黄色は提出率上位2学部、青色は提出率下位2学部を表わす。平均提出率は、上位・下位ともに4学部を色分けした。

図 0-1 学部別アンケート提出者数・構成比



1 学習意欲などの変化

問1 あなたの入学以降の学習についてお尋ねします。入学当初から現在までに、あなたの①学習意欲、②一週間に出席した授業のコマ数、③授業外の学習時間（授業の予復習や学術書・教養書の読書を含む）がどのように変化したかについて、右の「作成例」を参考にして表を完成させてください（学習意欲については、下記の5つから選択して番号を記入してください）。

(学習意欲) 5. 非常に意欲あり 4. まあまあ意欲あり 3. どちらともいえない
2. あまり意欲なし 1. まったく意欲なし

(作成例)

時期	学習意欲	授業出席 コマ数/週	授業外学習 時間/日	時期	学習意欲	授業出席 コマ数/週	授業外学習 時間/日
入学当初		コマ	時間	入学当初	5	15 コマ	1.5 時間
前期半ば		コマ	時間	前期半ば	4	〃	〃
後期開始		コマ	時間	後期開	4	4 コマ	3 時間
後期半ば		コマ	時間	後期半ば	4	〃	〃
現在		コマ	時間	現在	1	12 コマ	

*あまり深く考えず「平均」「おおよそ」でご記入ください

*現在の「授業出席コマ数」は、4月から出席を予定しているコマ数を記入してください

2005年（平成17年）の分析では、1.1（学習意欲）、1.2（出席コマ数）、1.3（授業外学習時間）に相関が見られた。ただし、後二者の相関は学習意欲を規定要因とする疑似相関とされている。そのことに基づいて「単位の実質化のためにCAP制を導入しても、必ずしも授業外学習時間の増加にはつながらない」という議論がなされている。

2013年（平成25年）入学生(工学部は2014年)からの履修上限の設定は、出席コマ数には影響しているが、授業外学習時間への影響は見られない。ただ、問題があって、授業外学習時間の、2006年以前の2回の調査と2007年以降の調査の間に不可解なギャップが存在する。また、2007年以降を見ても、出席コマ数の変動が2013年と2014年の間を除き緩やかな変化なのに対して、授業外学習時間の方は1時間/日の範囲で変動している。これが何に起因するものかは不明である。「授業外学習時間」という設問に問題があると思われる。

1. 1 学習意欲の変化

1 回生から 2 回生にかけての 5 つの時期を通しての学生の学習意欲の変化を、全学部・文系・理系の別に平均値で見ると、**図 1-1-1** のようになった。全体として、入学当初にはかなり高かった学習意欲が、時期が進むにつれて、とくに後期において、かなり低下する様子が見て取れる。2 回生の新年度を迎えて、心機一転、学習しようとする意欲がかいま見える。

図 1-1-2 に 2005-2016 年の経年変化（全体）を、**図 1-1-3** に（文系）、**図 1-1-4** に（理系）を示す。全体的には、例年に比べ、“現在”（2 回生前期）の得点がわずかに低下している点以外、入学当初からの学習意欲の変化のパターンは例年とさほど変わらない。文系・理系別にみても、同様の傾向が認められる。

図 1-1-5 以下は平成 27 年度までの報告書にはなかった集計内容である。以下それぞれの図の前に説明を書く。

図 1-1-6 から **図 1-1-9** を見ると、入学当初「意欲なし」と回答した者の多くは、現在も「意欲なし」と答えているのに対し、現在「意欲なし」回答した者の多くは、入学当初については「意欲あり」と答えている。

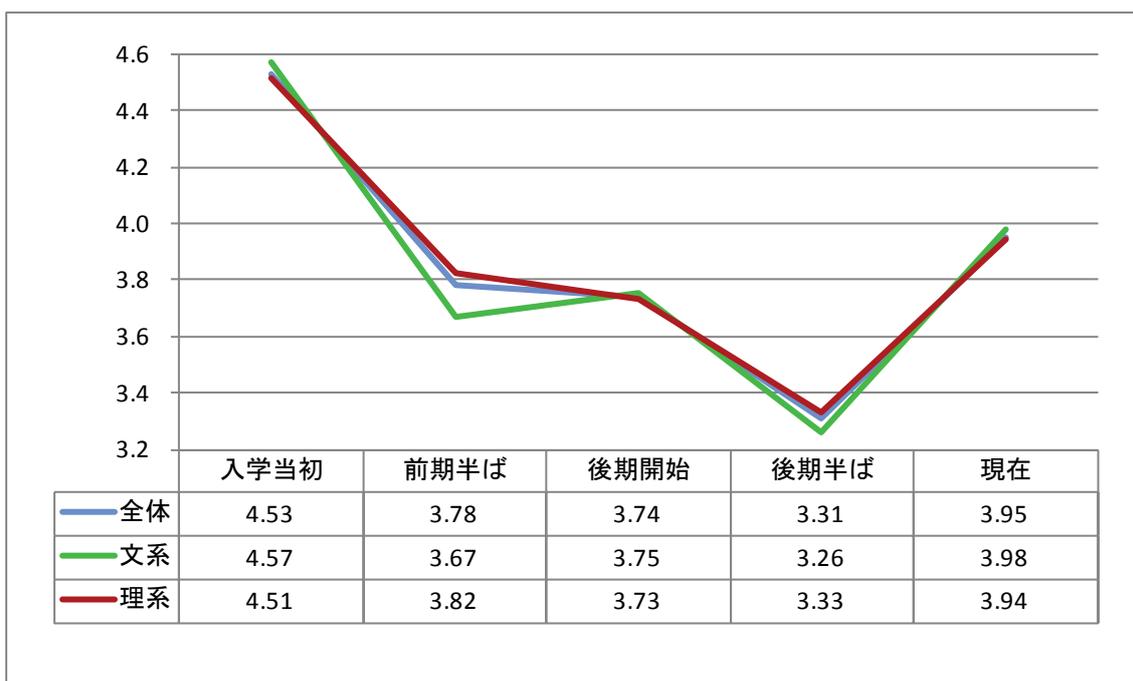


図 1-1-1 学習意欲の変化（2016 年）

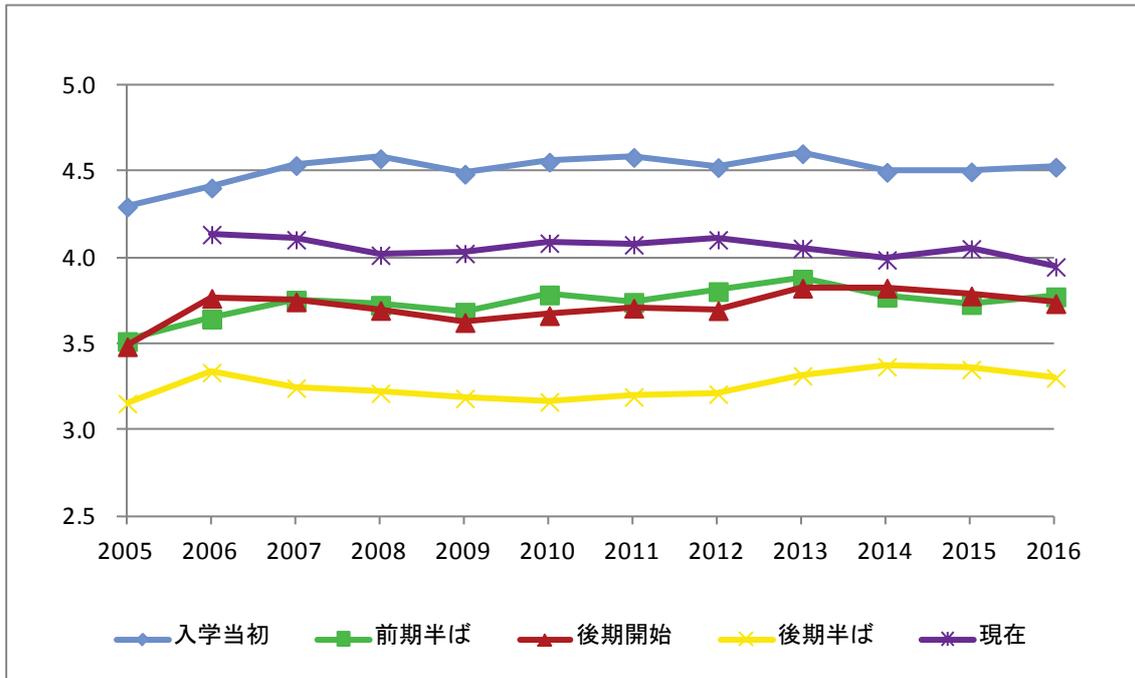


図 1-1-2 学習意欲の経年変化 (2005-2016 年) (全体)

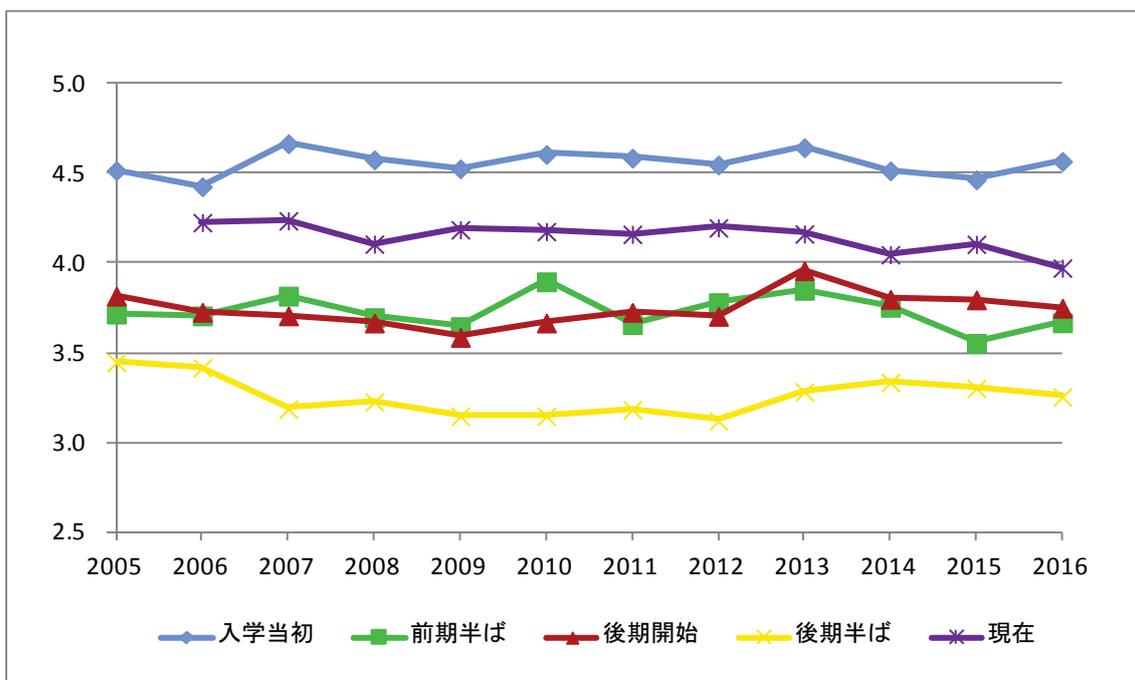


図 1-1-3 学習意欲の経年変化 (2005-2016 年) (文系)

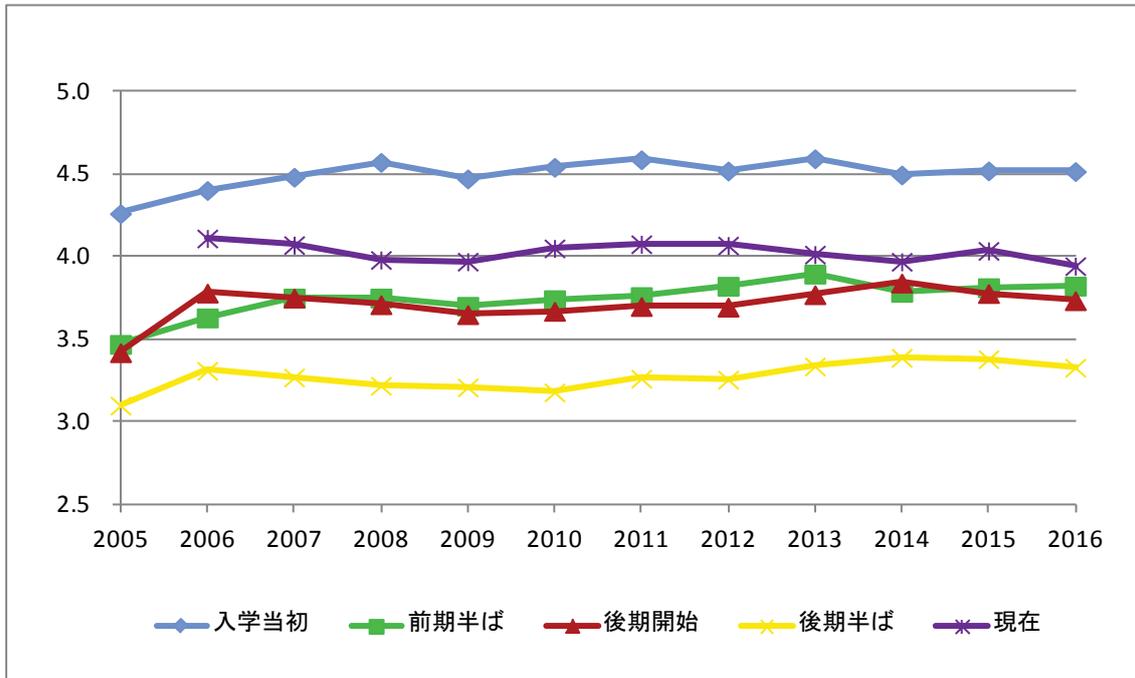


図 1-1-4 学習意欲の経年変化 (2005-2016 年) (理系)

◆図 1-1-5 は回答の数値 1~5 の平均ではなく、度数分布を示した。なお、後期開始は前期半ばと大きな差はなく、省略している。

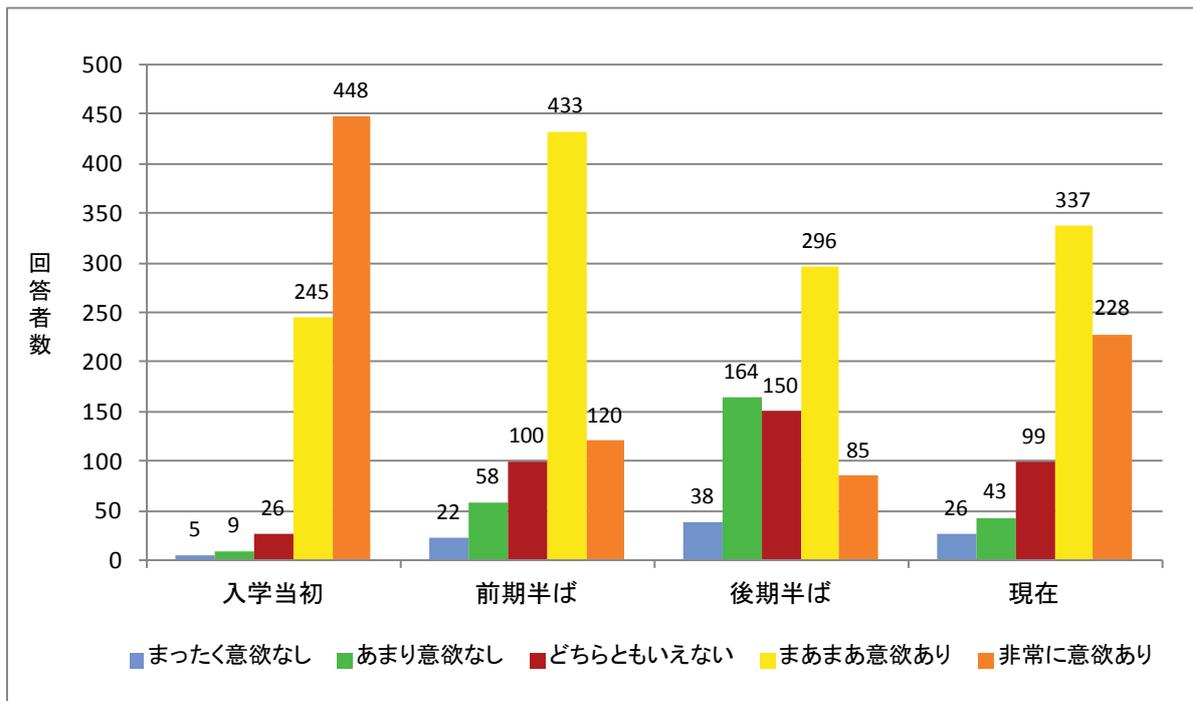


図 1-1-5 学習意欲の変化・全体分布図 (2016 年)

◆**図 1-1-6** は入学時点で「意欲のないもの」40名を抽出し、その後の推移をグラフにしたものである。なお、「意欲のないもの」とは、【設問項目】 1（まったく意欲なし）、2（あまり意欲なし）、3（どちらともいえない）を選択した者とする。

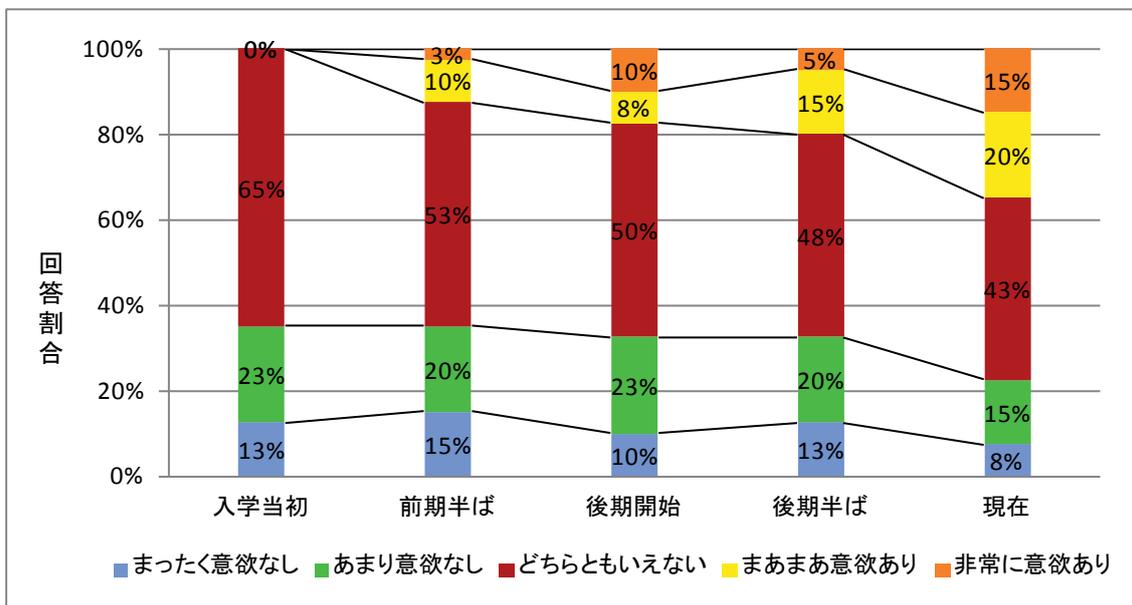


図 1-1-6 入学当初に「意欲なし」と回答した者の現在までの学習意欲の推移（2016年）

◆**図 1-1-7** はアンケート調査時点（現在）で「意欲のないもの」168名について、入学時からの変化をたどったものである。なお、「意欲のないもの」とは、【設問項目】 1（まったく意欲なし）、2（あまり意欲なし）、3（どちらともいえない）を選択した者とする。

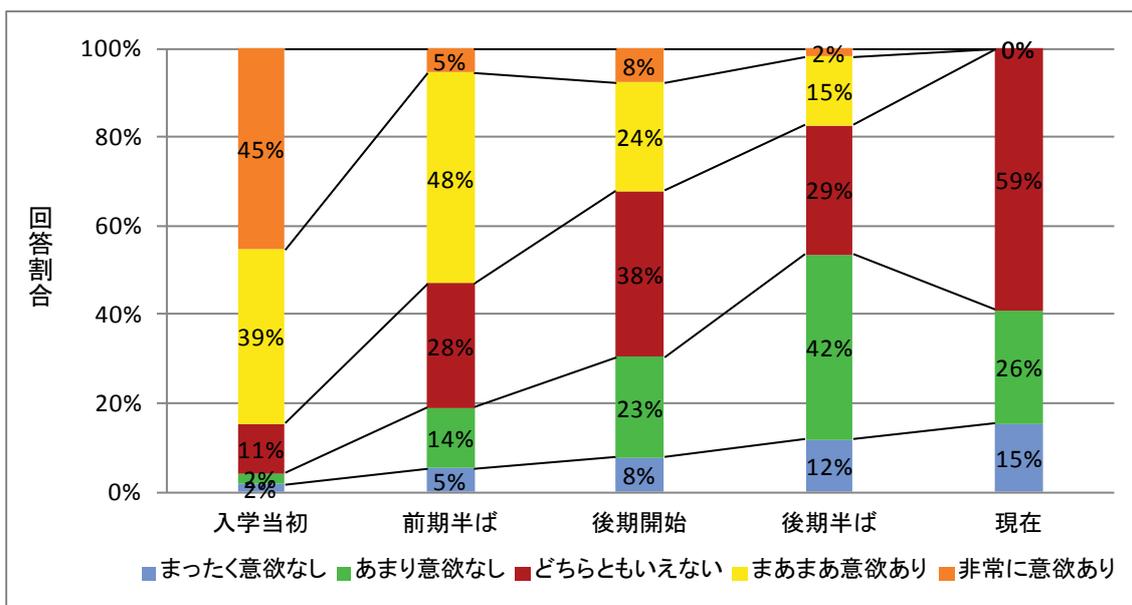


図 1-1-7 現在に「意欲なし」と回答した者の入学当初からの学習意欲の推移（2016年）

◆**図 1-1-8** と **図 1-1-9** はアンケート調査時点（現在）1（まったく意欲なし）の 26 名と 2（あまり意欲なし）の 43 名がどのような人数変化をしてきたかをたどったものである。

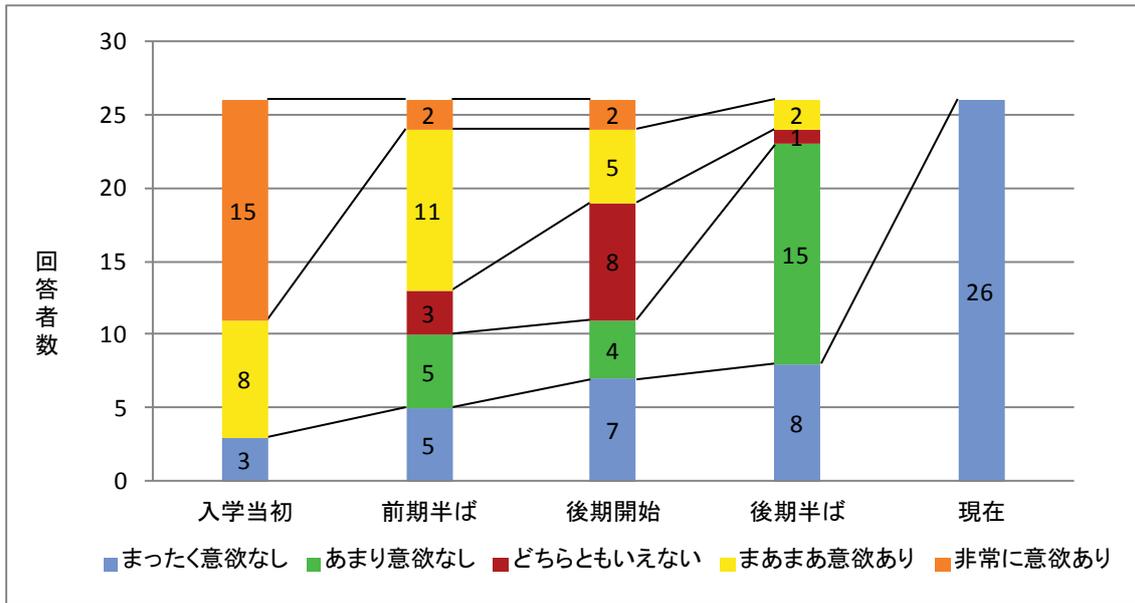


図 1-1-8 現在に「まったく意欲なし」と回答した者の入学当初からの学習意欲の推移 (2016年)

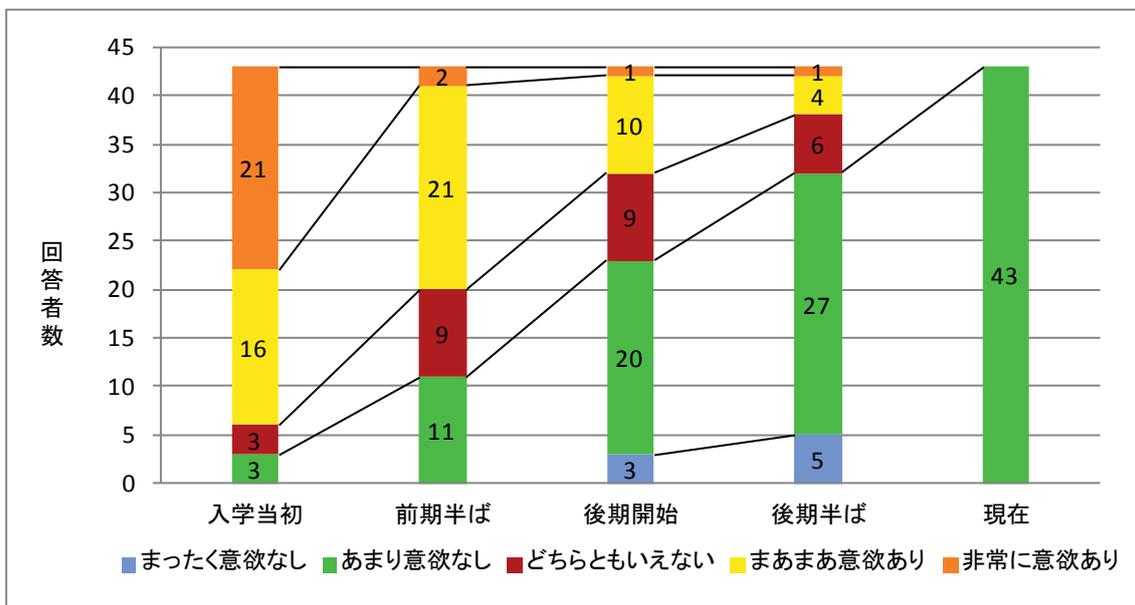


図 1-1-9 現在に「あまり意欲なし」と回答した者の入学当初からの学習意欲の推移 (2016年)

1. 2 出席コマ数の変化

図 1-2-1 では出席コマ数が時間とともに一定のペースで減少し、2 回生になると理系では下げ止まり、文系では持ち直す様子が見て取れる。1 回生の間は理系が文系を 1~2 コマ上回っている。この傾向は図 1-2-2 から図 1-2-4 までの経年変化で見ても変わらない。経年変化からは、2013 年度入学生から工学部以外で履修上限が導入されたことの影響がはっきりと見て取れる。工学部に関しては図 1-2-5 である。図 1-2-6 には平均ではなく回答数の分布を示した。ここからは前後期の違いが見える。

学習意欲では前期半ばと後期開始の差はないが、出席コマ数では、科目が入れ替わることに伴いピークのコマ数が入れ替わるという変化がみられる。後で示す授業外学習時間（図 1-3-5）でも、これは同じである。授業外学習は授業に関係した予習復習などの「授業外」学習と考えれば自然である。

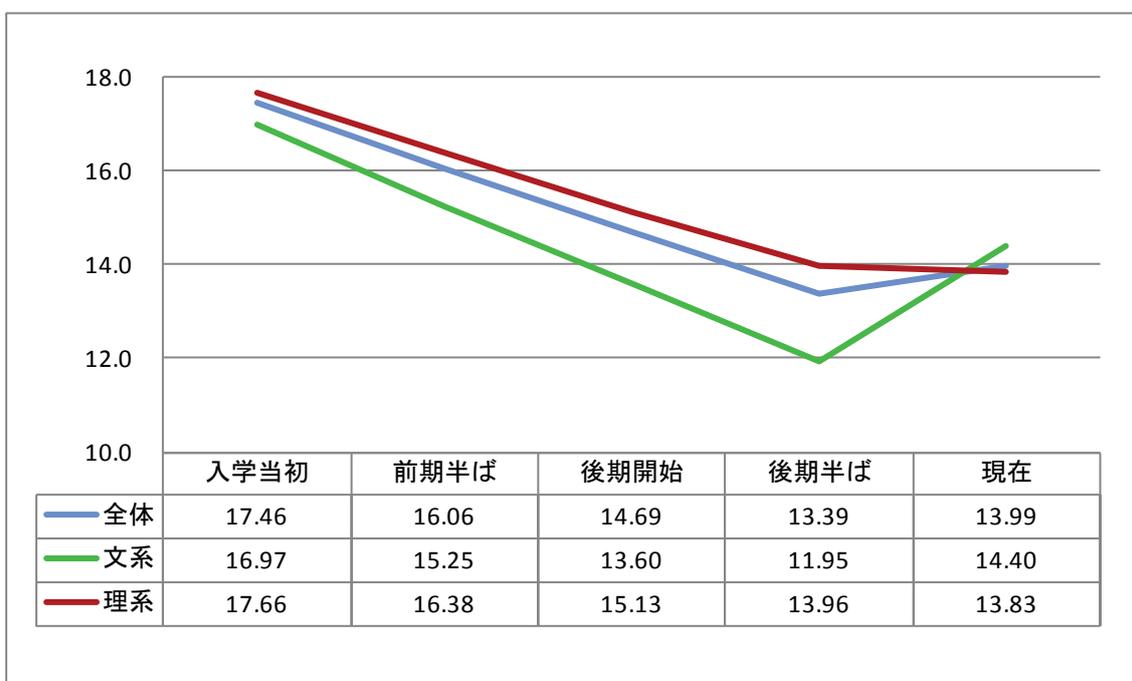


図 1-2-1 出席コマ数の変化 (2016 年)

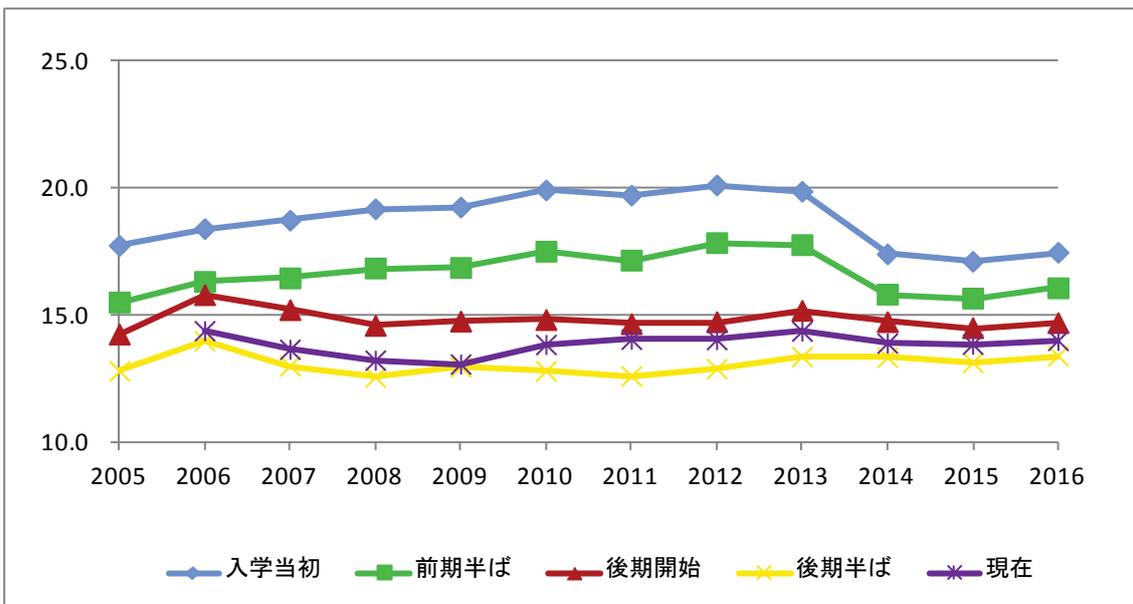


図 1-2-2 出席コマ数の変化 (2005-2016 年) (全体)

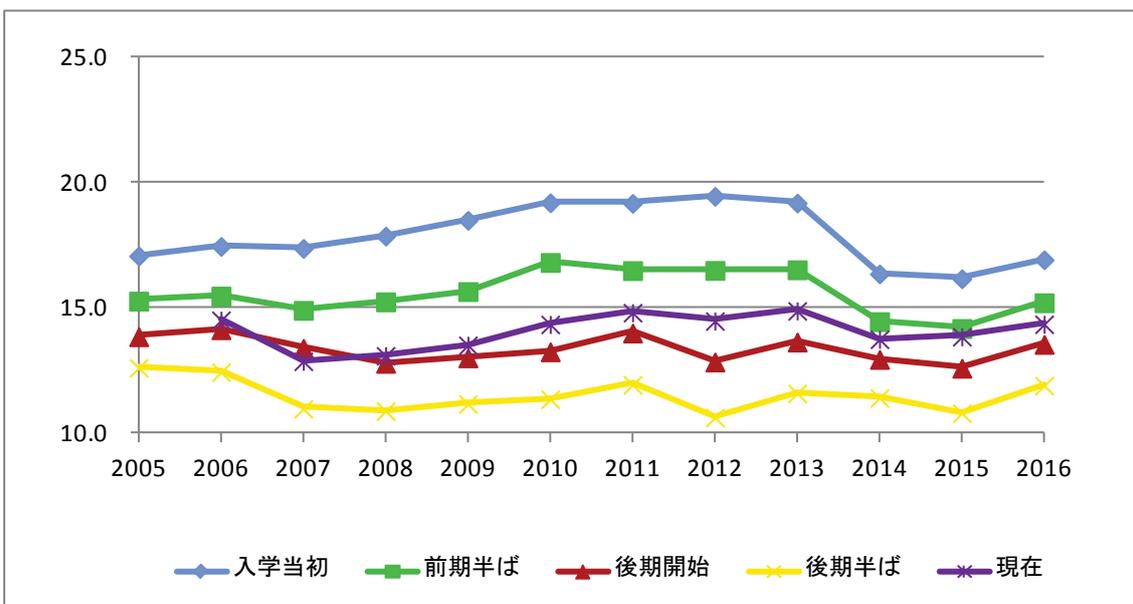


図 1-2-3 出席コマ数の変化 (2005-2016 年) (文系)

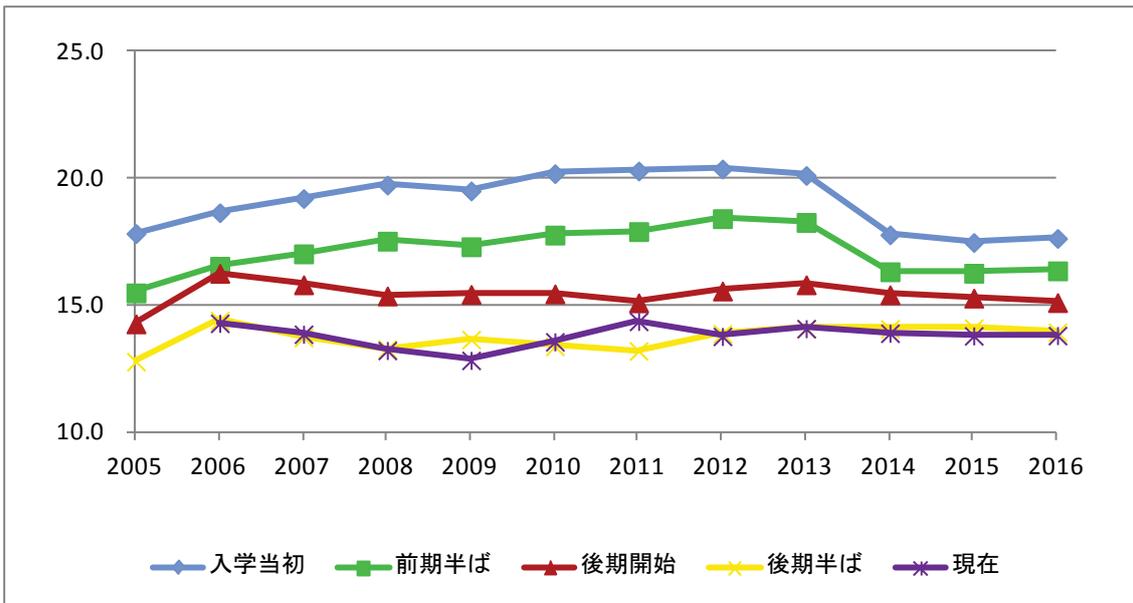


図 1-2-4 出席コマ数の変化 (2005-2016年) (理系)

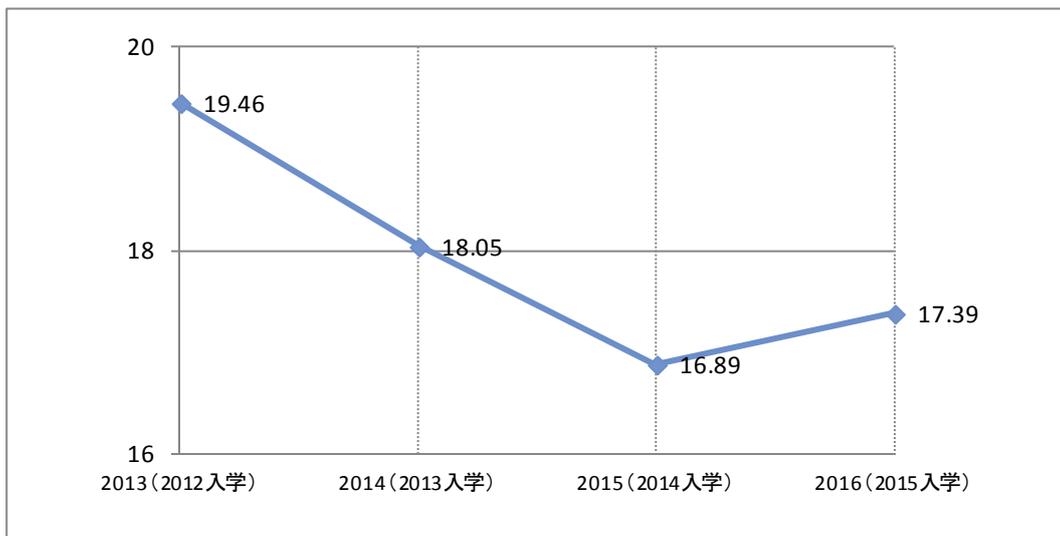


図 1-2-5 出席コマ数の変化 (入学当初時点) (工学部)

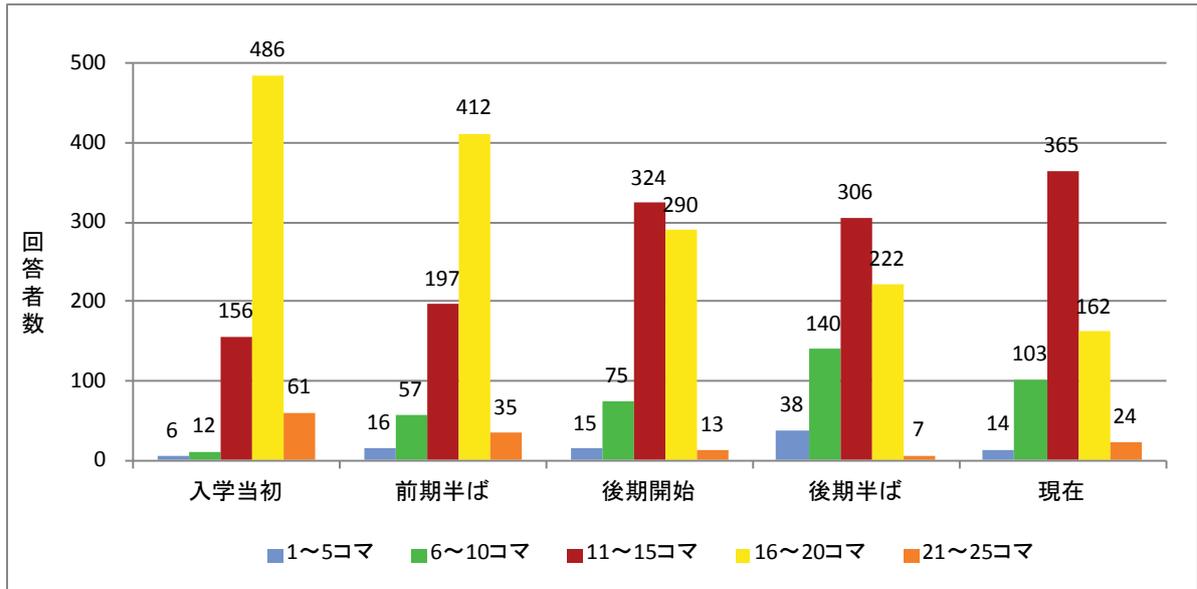


図 1-2-6 出席コマ数の変化・全体（2016 年）

1. 3 授業外学習時間の変化

1 回生から 2 回生にかけての授業外学習時間の変化を、全学部・文系・理系の別に平均値で見ると、**図 1-3-1** のようになった。1 回生の間は理系が文系よりも授業外学習時間がやや長いことが認められる。この傾向は昨年同様である。

経年変化で 2006 年と 2007 年の間にあるギャップは不可解である。2007 年以降においても、文系の「現在」の値の変化が大きい理由がわからない。授業外の学習を授業に関連する学習とそれ以外に分けて考えるべきであり、漠然と平均の学習時間を聞くだけになっていることが問題である。授業との関連の有無がわかるような設問にすべきである。

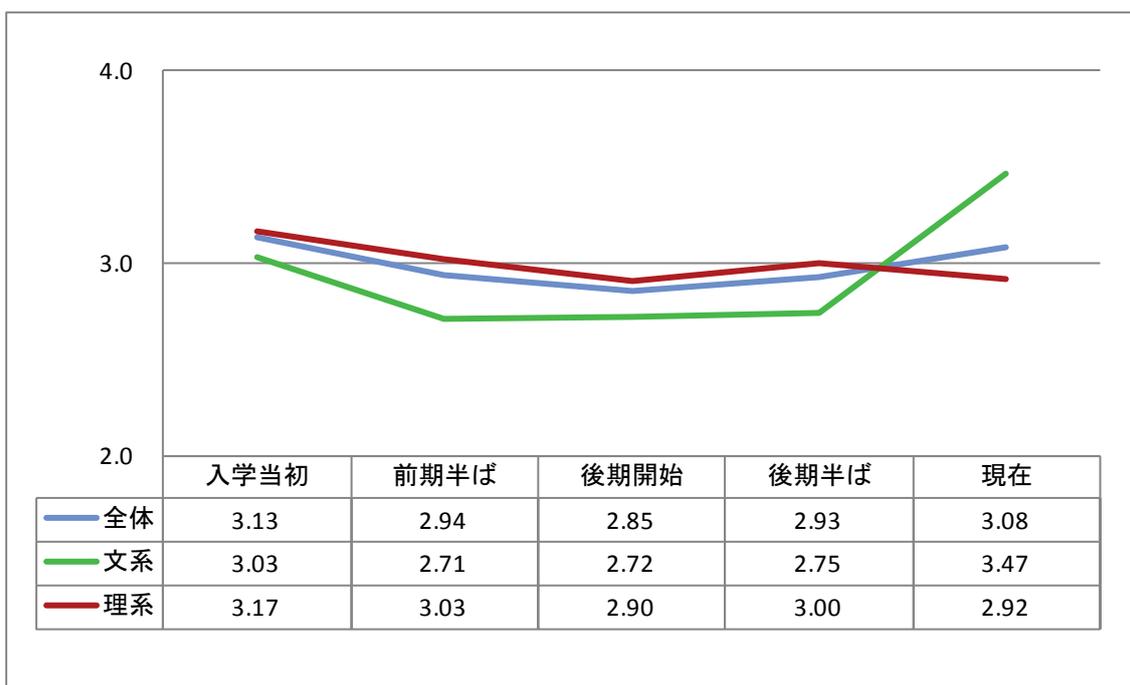


図 1-3-1 授業外学習時間の変化 (2016 年)

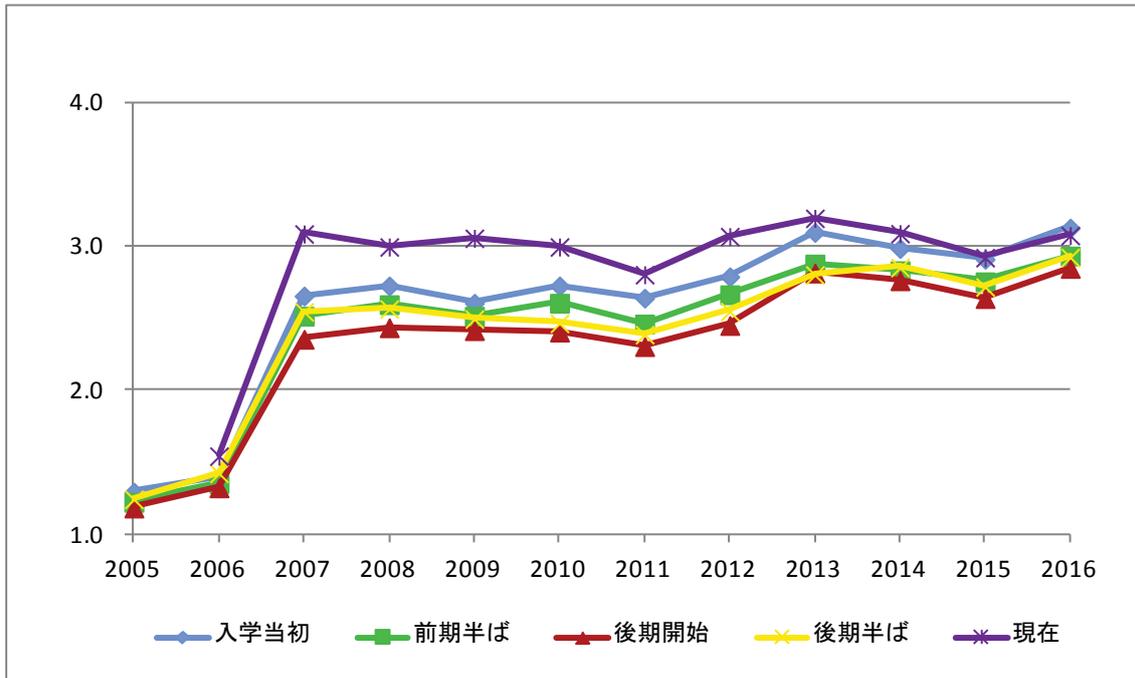


図 1-3-2 授業外学習時間の変化 (2005-2016 年) (全体)

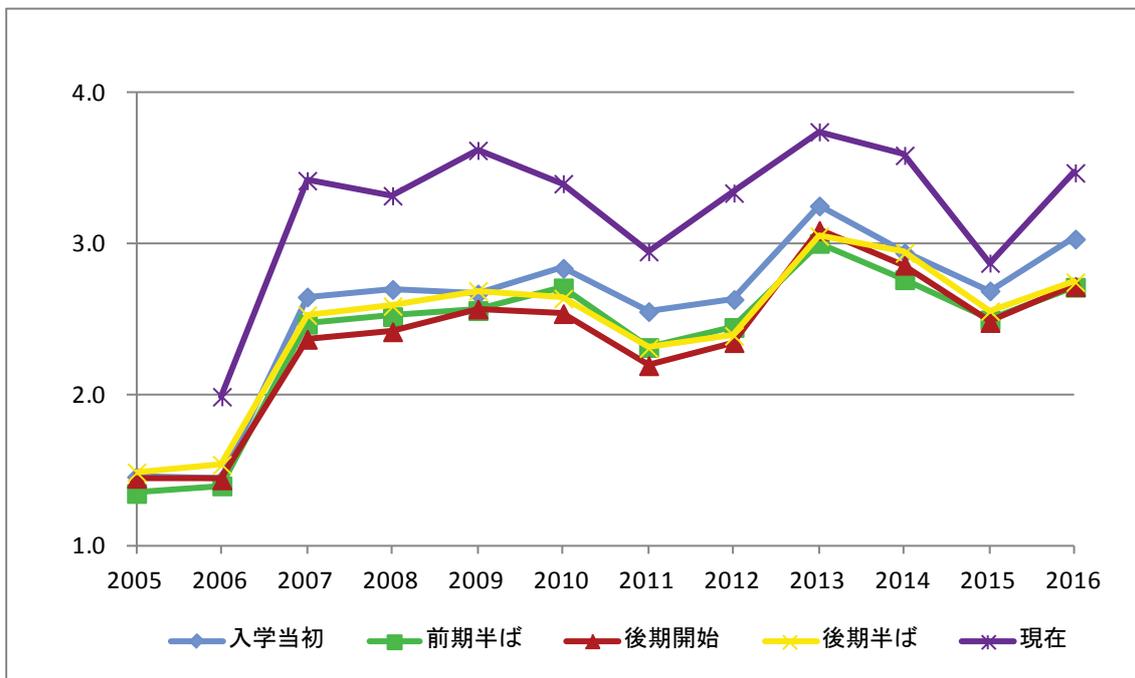


図 1-3-3 授業外学習時間の変化 (2005-2016 年) (文系)

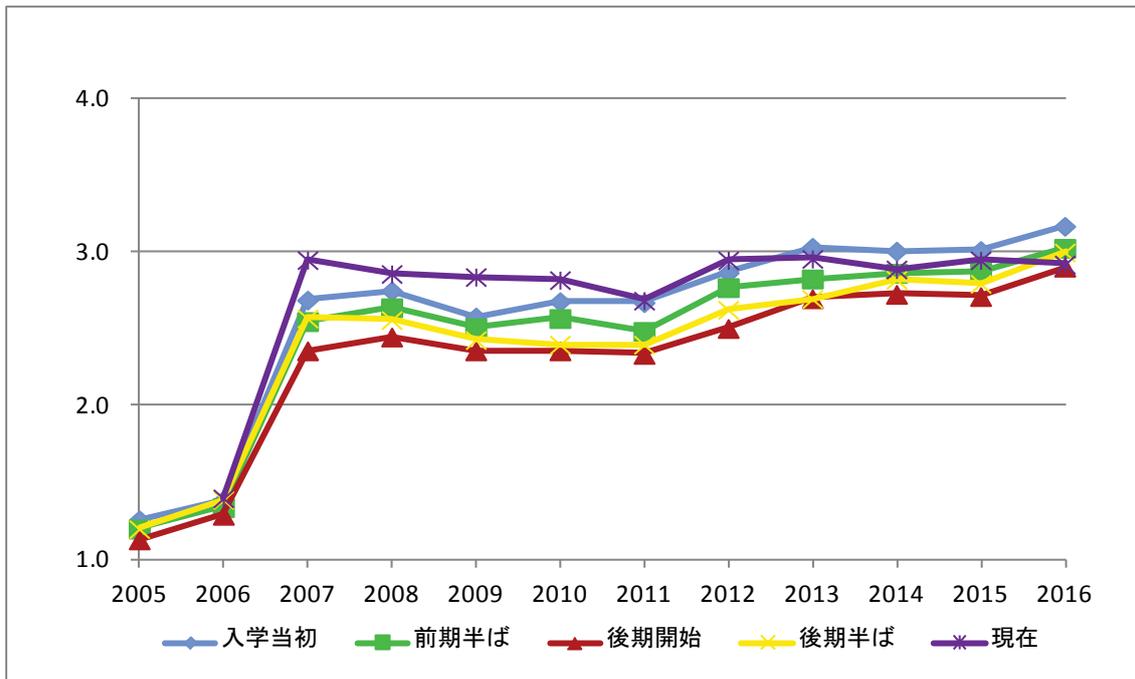
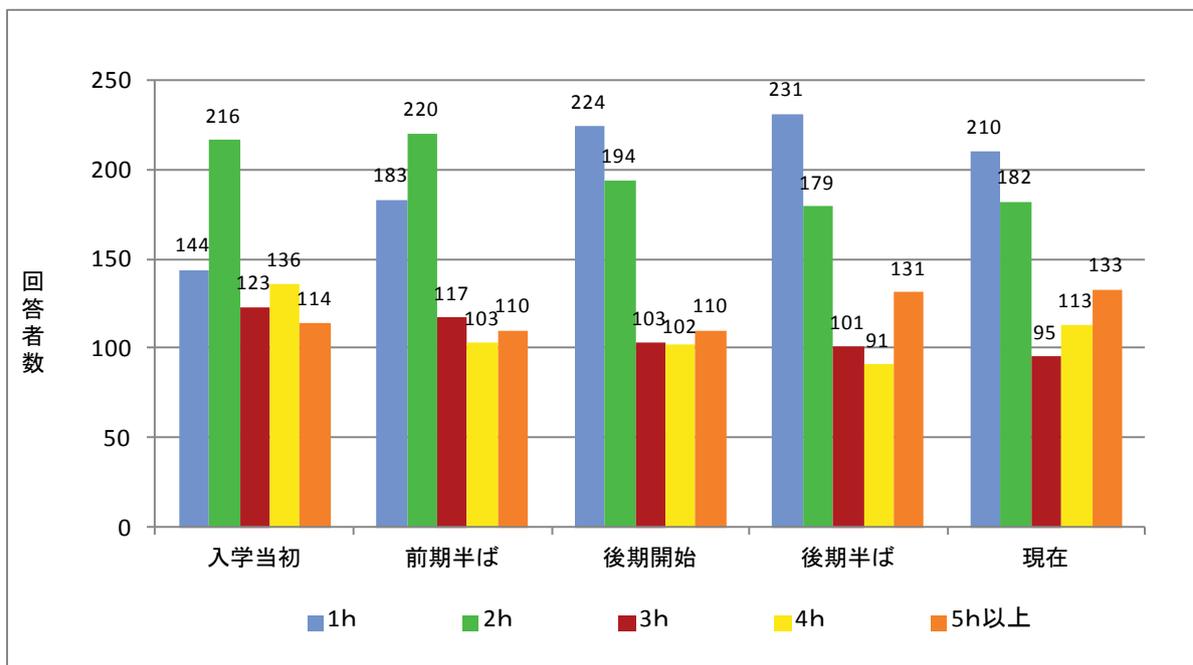


図 1-3-4 授業外学習時間の変化 (2005-2016 年) (理系)



注) 自由記述だが今回は整数のみの記述であった。

図 1-3-5 授業外学習時間の変化・全体 (2016 年)

◆表 2-1-2 は納得度について「H28」と「H17」を比較した。「納得」が増加し、その他は減少している。

	H28	H17
納得せず	3%	5%
あまり納得せず	8%	10%
まあ納得	43%	46%
納得	46%	39%

表 2-1-2 H28 と H17 の納得度の比較

◆表 2-1-3 は納得せざる理由について比較した。「H28」と「H17」の列は、その左側の 2 列に重み 2 と 1 をかけて和をとった。「H28 補正」の列は「H28」の値に H17 と H28 のアンケートの回答率の比 $41.8/24.7$ をかけて補正した。

「比率」は「H28 補正」を「H17」で割った。特に明確さ・公正さについての納得度が高まったように見える。

理 由	最重要	最重要以外	H28	最重要	最重要以外	H17	H28補正	比率
厳しい	28	43	99	27	185	239	167.54	0.70
甘い	8	10	26	19	58	96	44.00	0.46
不明確	30	38	98	90	294	474	165.85	0.35
不公正	12	20	44	35	123	193	74.46	0.39

表 2-1-3 H28 と H17 の「納得せず」の理由の比較

3 「満足した科目」「不満だった科目」

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A (満足だった科目)

あなたがとくに満足した科目をいくつか思い浮かべてください(もし満足した科目がなければBに進んでください)。

下記の表に、それらの科目名(3つまで)をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(人社・自然・外国語・現社・拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他(自由記述)

上記のうち、最も重要なものを選んでください(1～6から選択)

(以下、科目2、3も同様)

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください(もし不満だった科目がなければ問4に進んでください)。

下記の表に、それらの科目名(3つまで)をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(人社、自然、外国語、現社、拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境(広さ・設備など)に問題があった
- 7 その他(自由記述)

上記のうち、最も重要なものを選んでください(1～7から選択)

(以下、科目2、3も同様)

◇「満足した科目」「不満だった科目」の回答者数とその理由

◆図 3-1-1～図 3-1-8 は人社、自然、外国語（英語関係）、外国語（初修外国語）の 4 つについて、項目 1～5 を文理別に満足・不満足を正負の積み上げグラフで表示したものである。なお、文系学部・理系学部の内訳は、以下のとおりである。

- ・文系学部...総人（人間科学系・国際文明学系・文化環境学系）・文・教育・法・経済学部
- ・理系学部...総人（認知情報学系・自然科学系）・理・医・薬・工・農学部

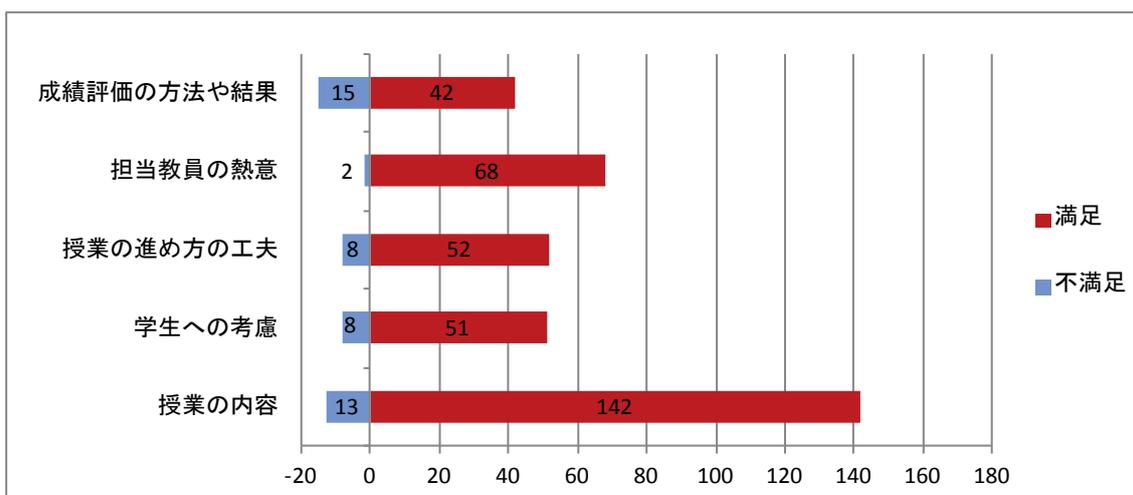


図 3-1-1 満足・不満足 理由別集計（人社群）（文系）

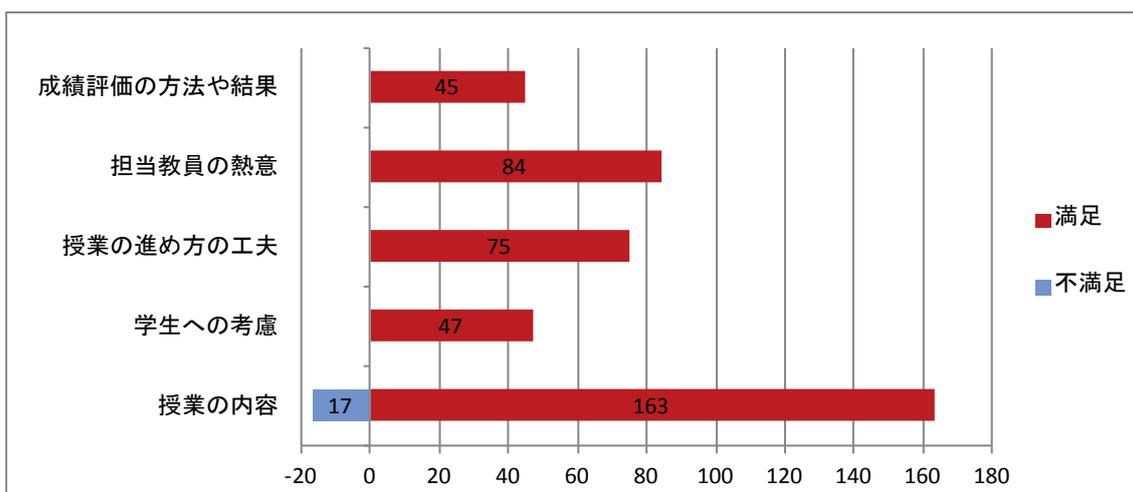


図 3-1-2 満足・不満足 理由別集計（人社群）（理系）

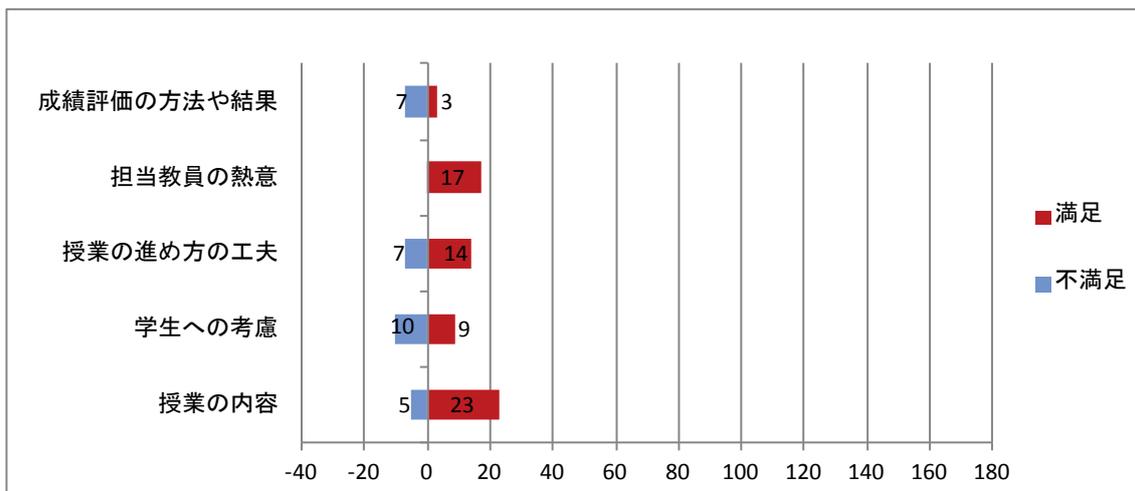


図 3-1-3 満足・不満足 理由別集計（自然群）（文系）

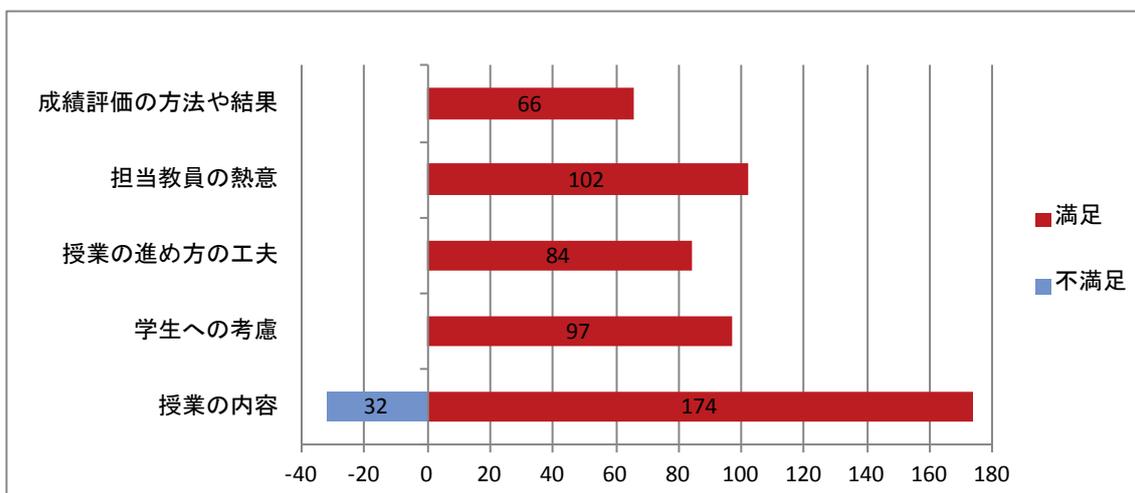


図 3-1-4 満足・不満足 理由別集計（自然群）（理系）

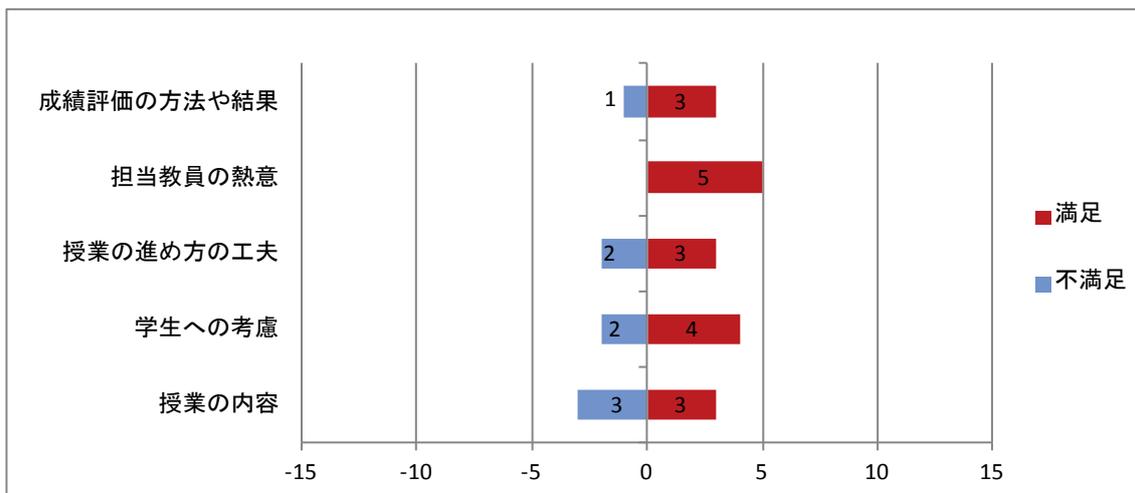


図 3-1-5 満足・不満足 理由別集計（外国語群・英語関係）（文系）

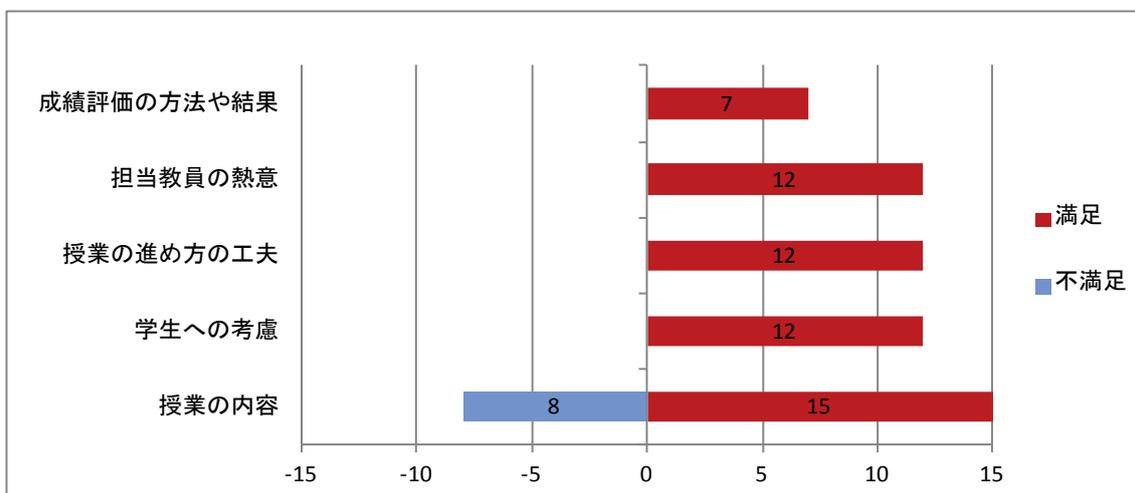


図 3-1-6 満足・不満足 理由別集計（外国語群・英語関係）（理系）

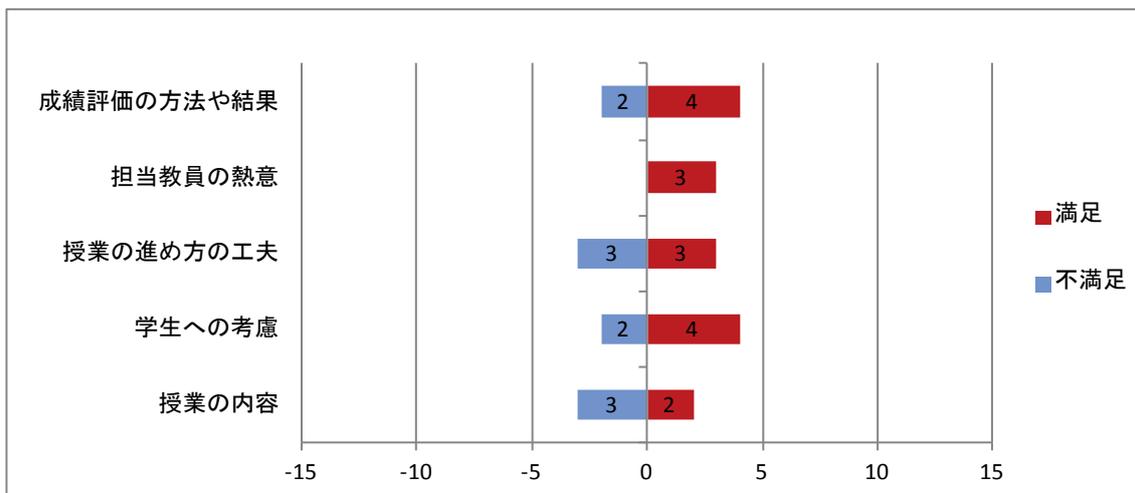


図 3-1-7 満足・不満足 理由別集計（外国語群・初修外国語関係）（文系）

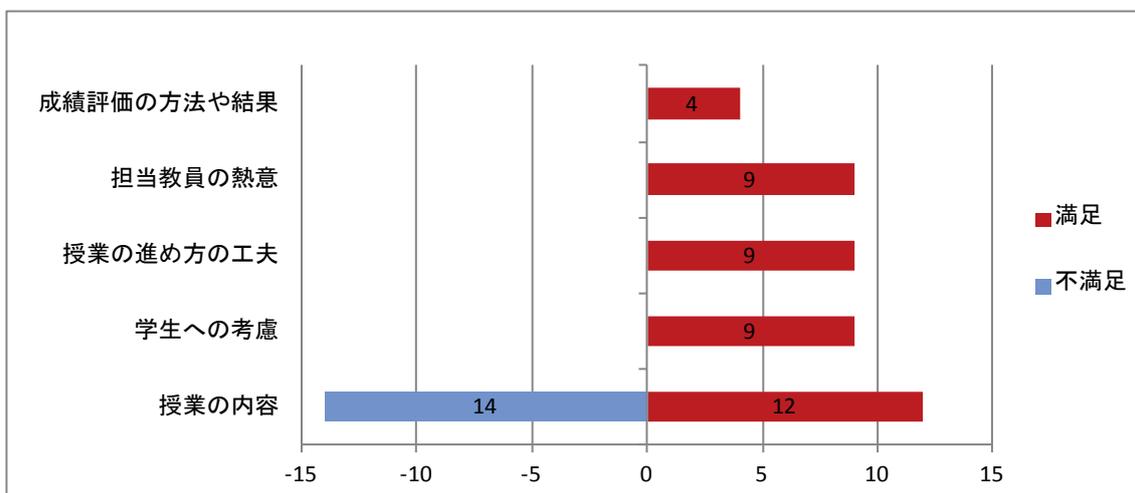


図 3-1-8 満足・不満足 理由別集計（外国語群・初修外国語関係）（理系）

4 全学共通科目への期待

問4 あなたは入学当初、京都大学の全学共通科目に対して、次の各項目をそれぞれどの程度期待していましたか。

	期待していた	どちらかといえば期待していた	どちらかといえば期待していなかった	期待していなかった
A. 専門以外の幅広い知識・教養	1	2	3	4
B. 専門での勉強の基礎	1	2	3	4
C. 実用的な知識・技能	1	2	3	4
D. 教員との交流	1	2	3	4
E. 学生同士の交流	1	2	3	4
F. 自分の研究分野の決定の手掛かり	1	2	3	4
G. 自分の研究内容へのヒントや刺激	1	2	3	4

◇全学共通科目に期待する内容

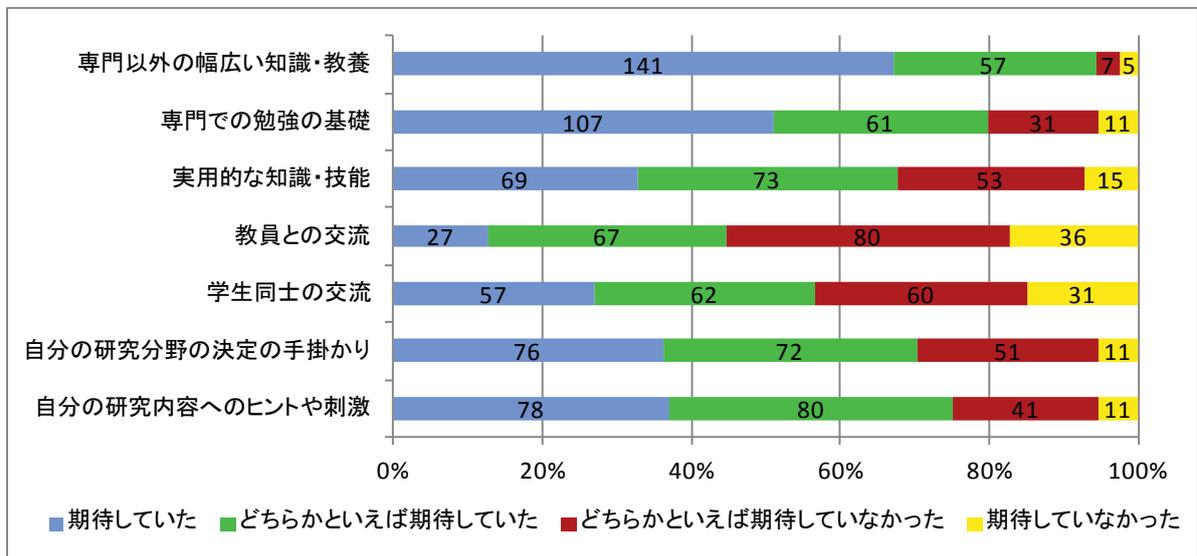


図 4-1-1 全学共通科目に期待する内容 (2016年) (文系)

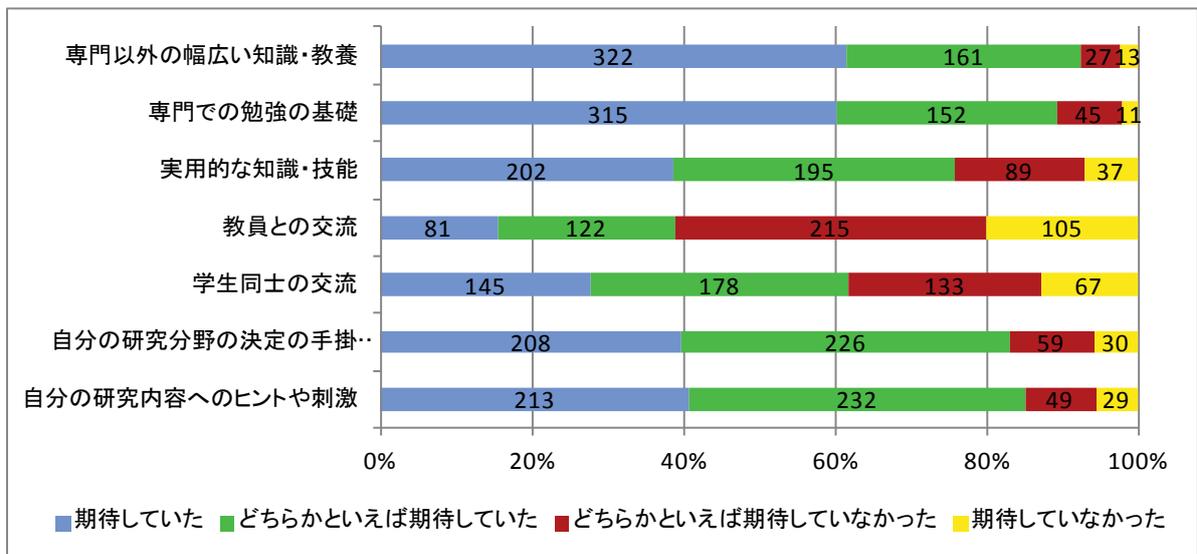


図 4-1-2 全学共通科目に期待する内容 (2016年) (理系)

5 期待は実現されたか

問5 全体として、あなたが全学共通科目に対して抱いていた期待は実現されましたか。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 実現された | 2 どちらかといえば実現された |
| 3 どちらかといえば実現されなかった | 4 実現されなかった |

◇全学共通科目への期待は実現されたか

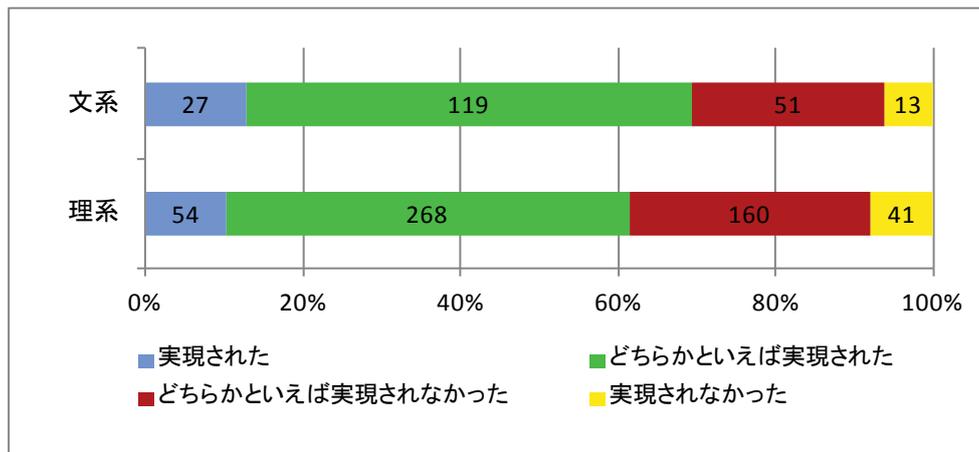


図 5-1-1 全学共通科目への期待は実現されたか (2016 年)

6 今後の全学共通科目への要望

問6 今後の全学共通科目に対して、どのような改善を要望しますか。あてはまるすべてのものすべてに□チェックをつけ、最も重要なもの1つを選択してください。

- 1 特に要望はない
- 2 学生の関心により対応した内容の授業をしてほしい
- 3 学生の予備知識や理解度をもっと考慮してほしい
- 4 授業の進め方をもっと工夫してほしい
- 5 授業にもっと熱意をもってほしい
- 6 学生とのコミュニケーションをもっととってほしい
- 7 成績評価の基準・方法をもっと明確にしてほしい
- 8 教室環境（設備・広さなど）を改善してほしい
- 9 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～9から選択）

◇項目別集計

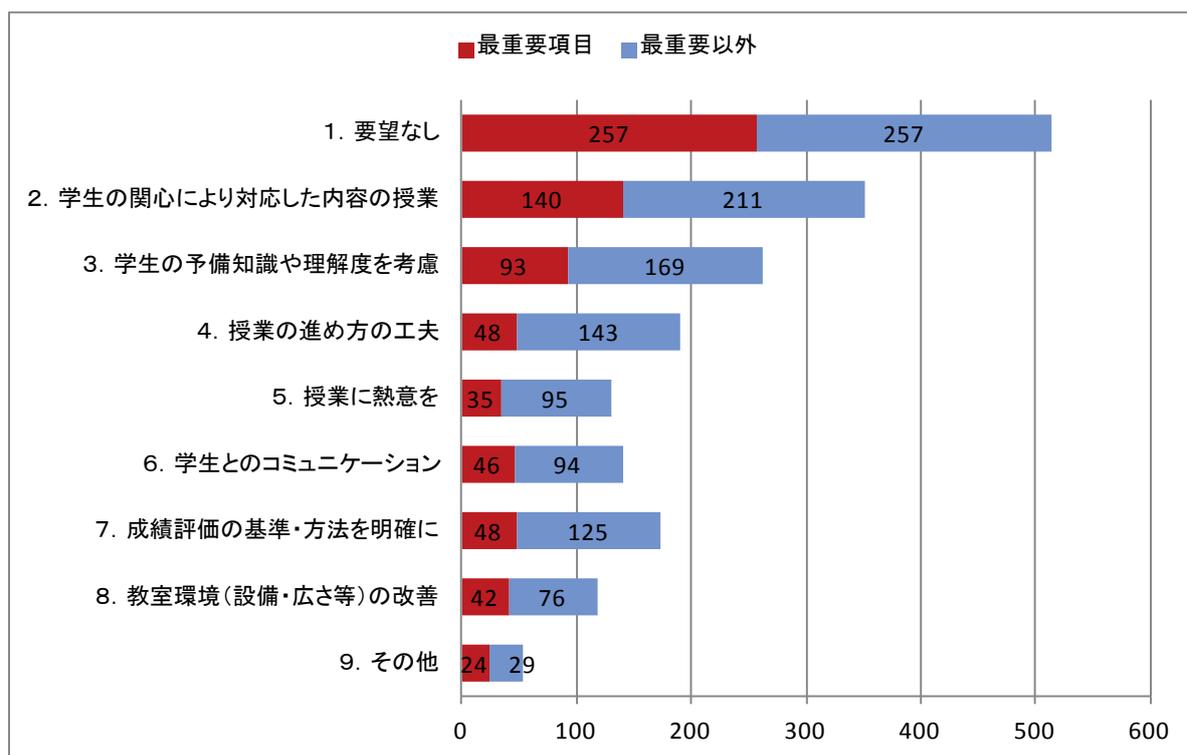


図 6-1-1 今後の全学共通科目への要望（2016年）（全体）

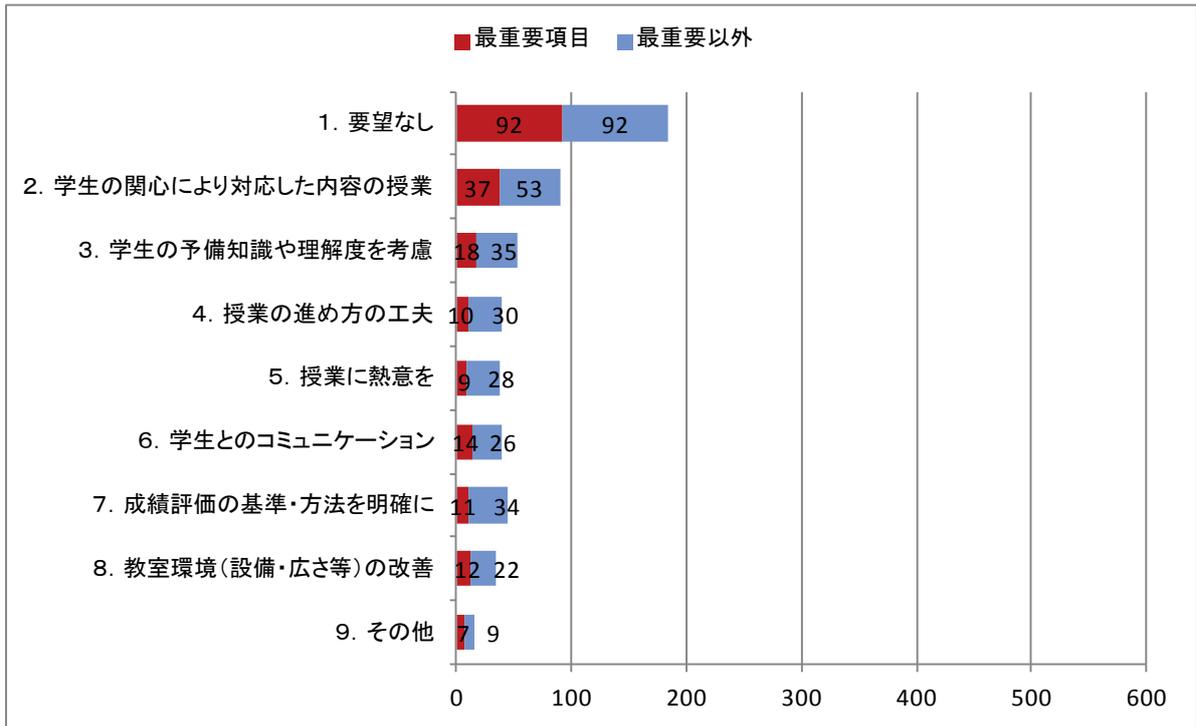


図 6-1-2 今後の全学共通科目への要望 (2016 年) (文系)

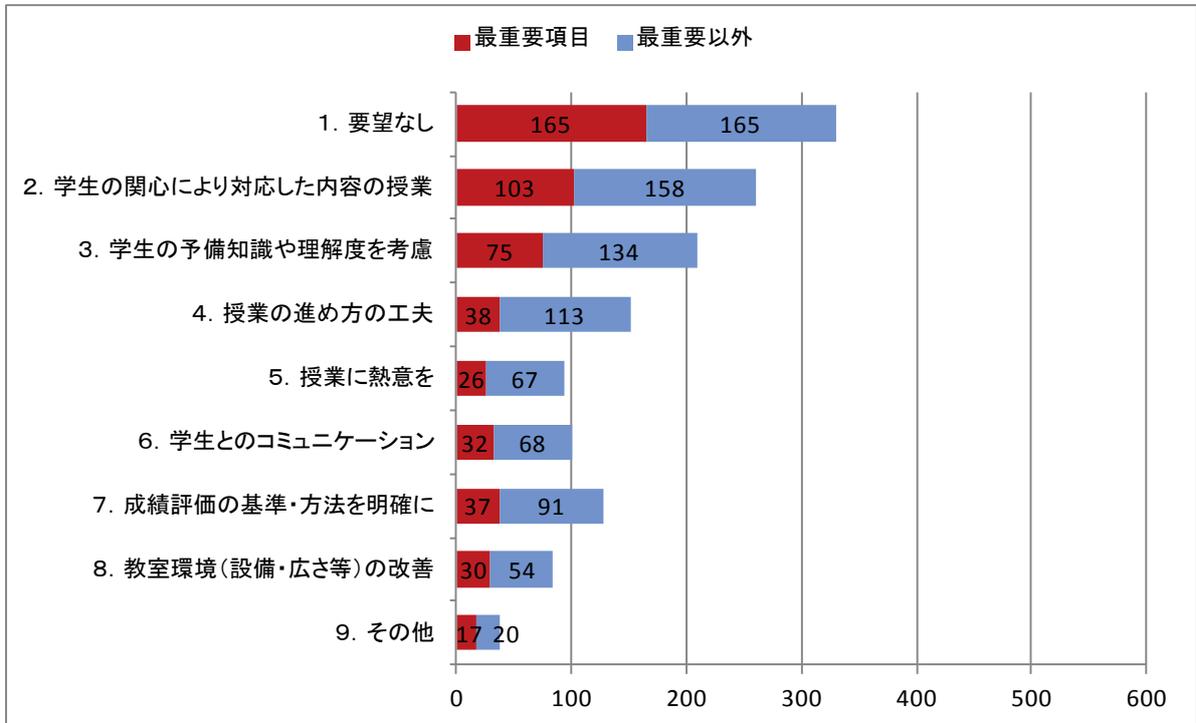


図 6-1-3 今後の全学共通科目への要望 (2016 年) (理系)

◆表 6-1-4 は平成 28 年度と平成 17 年度の要望の比較である。なお、黄色は平成 17 年度より要望が強くなっている項目である。

	最重要	最重要以外	H28	最重要	最重要以外	H17	H28補正	比率
関心に対応	140	211	491	146	479	771	831	1.08
理解度を考慮	93	169	355	124	355	603	601	1.00
授業の工夫	48	143	239	84	367	535	404	0.76
熱意	35	95	165	57	202	316	279	0.88
コミュニケーション	46	94	186	33	159	225	315	1.40
評価基準の明確化	48	125	221	62	309	433	374	0.86
教室改善	42	76	160	34	151	219	271	1.24

表 6-1-4 H28 と H17 の「今後の全学共通科目への要望」の比較

7 2x2 クロス表による解析

この章では 2x2 クロス表による解析を行う。

学習意欲、出席コマ数、授業外学習時間が互いにどのように関連しているかを、2x2 クロス表を作り、その『ピアソンのカイ 2 乗値』を計算することによって調べる。

平成 17 年度の分析によると『出席コマ数、授業外学習時間はどちらも学習意欲を共通の規定要因としているが、両者の間の相関は見かけのものである』となっている。この点を確認するために、まず、「学習意欲と出席コマ数」および「学習意欲と授業外学習時間」の間の 2x2 クロス表でカイ 2 乗値を調べた (表 7-1-1)。その結果、入学当初を除いては大きな値を示し、高い相関が認められた。

次に学習意欲を「あり」と「なし」の 2 つのグループに分けてそれぞれで「出席コマ数と授業外学習時間」の間の 2x2 クロス表のカイ 2 乗値を調べた。その結果、学習意欲との相関に比べて、入学当初を除けば、値は小さくなっている傾向が確認された (表 7-1-2)。

学習意欲と期待度および実現度の解析は、表 7-1-3、表 7-1-4 に示す。

◆表 7-1-1 と表 7-1-2 について、「学習意欲あり」とは、【設問項目】 4 (まあまあ意欲あり)、5 (非常に意欲あり)、「学習意欲なし」とは、【設問項目】 1 (まったく意欲なし)、2 (あまり意欲なし)、3 (どちらともいえない) を選択した者とする。但し、未回答は除く。

・入学当初

出席コマ数	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	授業外学習	1h以上	1h未満	カイ2乗値
意欲あり	670	12	28.134	意欲あり	564	129	8.544
意欲なし	33	6		意欲なし	25	15	

・前期半ば

出席コマ数	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	授業外学習	1h以上	1h未満	カイ2乗値
意欲あり	519	23	85.616	意欲あり	463	90	90.802
意欲なし	125	50		意欲なし	87	93	

・後期半ば

出席コマ数	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	授業外学習	1h以上	1h未満	カイ2乗値
意欲あり	332	40	83.87	意欲あり	331	50	124.333
意欲なし	203	138		意欲なし	171	181	

・現在

出席コマ数	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	授業外学習	1h以上	1h未満	カイ2乗値
意欲あり	451	76	16.54	意欲あり	448	117	76.555
意欲なし	100	41		意欲なし	75	93	

表 7-1-1 学習意欲に対する出席コマ数、授業外学習時間の 2x2 クロス表による解析

・入学当初

意欲あり	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	意欲なし	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値
1h以上	552	5	12.775	1h以上	24	1	6.934
1h未満	120	7		1h未満	9	5	

・前期半ば

意欲あり	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	意欲なし	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値
1h以上	441	15	6.438	1h以上	72	15	10.883
1h未満	78	8		1h未満	53	35	

・後期半ば

意欲あり	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	意欲なし	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値
1h以上	295	31	4.248	1h以上	129	40	39.255
1h未満	37	9		1h未満	74	98	

・現在

意欲あり	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値	意欲なし	11コマ以上	10コマ以下	カイ2乗値
1h以上	368	60	0.299	1h以上	55	45	1.434
1h未満	83	16		1h未満	18	23	

表 7-1-2 学習意欲「あり」「なし」のグループごとの授業外学習時間と出席コマ数の間の2x2クロス表による解析

◆表 7-1-3 は「現在」の時点で「学習意欲なし」「学習意欲あり」をそれぞれ抽出し、期待度を「期待していた」「期待していなかった」に分けて集計したものである。

なお、選択肢の分け方として、学習意欲は選択肢①～④を「意欲なし」、⑤を「意欲あり」とし、期待度は①を「期待していた」、②～④を「期待していなかった」とした。

A. 専門以外の幅広い知識・教養

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値	理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	87	47	0.825	意欲なし	208	163	16.338
意欲あり	54	22		意欲あり	114	38	

B. 専門での勉強の基礎

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値	理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	65	69	0.886	意欲なし	209	162	8.086
意欲あり	42	34		意欲あり	106	46	

C. 実用的な知識・技能

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	40	94	1.517
意欲あり	29	47	

理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	130	241	6.913
意欲あり	72	80	

D. 教員との交流

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	13	121	3.291
意欲あり	14	62	

理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	49	322	5.07
意欲あり	32	120	

E. 学生同士の交流

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	32	102	1.993
意欲あり	25	51	

理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	92	279	5.457
意欲あり	53	99	

F. 自分の研究分野の決定の手掛かり

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	43	91	2.696
意欲あり	33	43	

理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	134	237	7.107
意欲あり	74	78	

G. 自分の研究内容へのヒントや刺激

文系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	45	89	2.011
意欲あり	33	43	

理系	期待していた	期待していなかった	カイ2乗値
意欲なし	140	231	4.73
意欲あり	73	79	

表 7-1-3 学習意欲、期待度の 2X2 クロス表による解析

◆表 7-1-4 は「現在」の時点で「意欲なし」「意欲あり」をそれぞれ抽出し、実現度を「実現された」「実現されなかった」に分けて集計したものである。

なお、選択肢の分け方として、学習意欲は選択肢①～③を「意欲なし」、④⑤を「意欲あり」とし、実現度は①②を「実現された」、③④を「実現されなかった」とした。

	実現された	実現されなかった	カイ2乗値
意欲なし	84	84	18.105
意欲あり	384	181	

表 7-1-4 学習意欲、実現度の 2X2 クロス表による解析

8 自由記述

問7 あなたは、1年間全学共通科目を受講して、どんなことを感じ、どんなことを考えましたか。自由にお書きください（たとえば、勉強における悩みや不満、その解決策、あるいは楽しさ・感動など、何でも結構です）。

学部別に、記述内容を掲載する。○は男子学生、◎は女子学生の回答である。

なお、明らかな誤字・脱字以外は修正せず、そのまま記載している。

8. 1 総合人間学部

- 体調管理ができずに出席できなかったので2回生は頑張らないといけないね。
- 幅広い知識を得ることができ、人生の糧となった。
- 自分の興味関心を見つけるために様々な内容の授業を受けた。どの授業も今後の選択や専門での勉強に役立つと思う。
- 教員としては毎年同じ内容を講義しているからか、熱意がない方が多かった。それに対して、こっちから何か質問すれば快く迎えてくれる方も少なからず居たのがよかった。総人の教員の方々は優しい印象を持った。
- どんな分野でも広く学べる総合人間学部の良さと悪さを知った。
- 回が進むにつれ眠くなった。人が多すぎる。
- ポケゼミのあたりはずれがあったらしい。
- 先生の趣味、専門を全面に出してくれていいと思うので、専門科目でなくてもゴリゴリ各教諭の色を出してほしいです。その分基本を補うための補助資料なり参考図書なりを示してくればよいです。
- ◎総人文系で入ったけど、※※先生の熱力学を受けて物理が面白くなった。もし熱力学に出会ってなかったらあの物理の面白さには触れられなかった。
- ◎学問を修めるには本気にならなければいけないということをひしひしと実感させられました。
- ◎いろんな分野のことを知れて楽しかった。特に、別の学科で学んだことが思わぬところではかの学科にも出てきたときが学問のつながりを感じて興味深かった。歴史関係の学科では高校時の履修を前提としないと言いながらも、知識がないと難しいものがちらほらあった。
- ◎色んな分野の授業が受けれてとても勉強になりました。ただ、知識不足がゆえに理解が追いつかなかった部分も多々ありました。今後はそういった学生の理解を促すような手助けをしていただけると幸いです。
- ◎日本人の先生の授業よりも外国人の先生方の授業の方が **interactive** でとても面白かった。少人数の授業の方がより知識を得ることができた。

8. 2 文学部

- とても意義深い講義ばかりだった。
- 文系の先生の中には人間的に素晴らしい（賢さと優しさを兼ね備えた）方がおられることを知り、日本の将来に希望が持てた。
- いくらでも好きな本を読めるのは嬉しいことです。カントの纯粹理性批判は面白すぎて夜も興奮して寝付きにくい程でした。

- 楽しかった。
- 言語・語学に関する授業は非常に興味深かった。
- 日本史の授業は、高校で日本史を履修していないと理解に苦しむものが多くて困った。
- 教員の授業の進行からの脱線に楽しさを感じた。
- 1回生から文学部専門科目を多く開講して、入学当初文学部に期待していたことを基礎的なことでいいからすぐにやらせてほしかった。パンキョーしか履修しないとなぜこの大学に来たのかわからなくなる。
- やりたいことの選択には責任を負わなければならないが、それさえすれば京都大学は応えてくれるということ。
- 幅広い知識を得ることができたが、その一つ一つが浅いものとなってしまう、授業外学習をもうすこしするべきだったと後悔している。
- もっと楽に単位くれるのが京大らしさだと思います（闊達）。
- Shadowing system は不具合が多すぎる。改善が絶対に必要。2回生以上が対象の科目（語学を除く）を1回生で選択しようとしてもクラスに自動的に除外されるのは納得いかない。意欲がある生徒の単位取得を阻害している。
- 中学校や高等学校でお世話になった先生方はやはり教育のプロだったのだなと実感させられました。
- ◎将来専門的に学ぼうと思っていることとは別のことが学べてよかった。
- ◎学部に関係なく、興味のある講義を受けられるところがいいと思いました。
- ◎幅広い分野の教養を身に付けることができ、自分の興味範囲も今までよりも広がった。また、学問とは高校までのように文理や教科により区切られたものではなく、広大な知の体系であるのだということがこの一年間を通して実感できるようになった。
- ◎思わぬところで面白さを発見したり、みんなが面白いと言ってるからといって自分も面白いとは思えなかったりなど、自分個人の感性を大事にしなくてはならないと感じた。自分の進路を決める上での手がかりが欲しかったが見つめることはできなかった。
- ◎ただ受動的に授業を受けているだけでは、勉強も授業も楽しくはないし、学問的な刺激も受けられないということ。本を読む事の大切さがわかった。
- ◎文学に関する授業を増やしてほしい。
- ◎教室が遠いために前の授業からの移動が困難な授業があった。全学共通科目がすべて吉田南で開講されていれば、選択の幅はより広がったと思う。
- ◎最初は教養を深めようと思い、自分の興味のない分野の授業を履修したが、最後は単位を落とさないことが目的になってしまった。大講義室での授業だと少人数の授業より緊張感をあまり覚えなかった。また、授業に関してもっと予習してから臨むべきだった。
- ◎はじめは大学の授業について行けなくて苦労しつらくなりましたが、前期が終わるころには慣れ、自分にとって効率の良い勉強の仕方がわかったので、後期からは教養科目の意義、楽しさを感じられるようになりました。
- ◎全学共通科目であっても、高校までに比べるとかなり深く狭い分野の学習になるので、高校時代にもっと基礎を固めておくべきだったと感じた。
- ◎授業内外で睡眠過多なことと、結果身にならないことが悩みだった。未だ解決に至らない。よくあることかもしれないが、よくあること自体あまりよくないことかもしれない。
- ◎文系・理系を問わず、幅広い授業を受けることができて楽しかったです。文系ですが、理系の授業にもついていけて安心しました。様々な学問の入り口を覗く良い機会だったと思います。

- ◎とても興味深い内容もあったが、教授が板書するだけの授業もあり、学習意欲に差が出た。
- ◎人が多かった。

8. 3 教育学部

- ◎自分の専門分野以外の授業をもっと受けておくべきだった。
- ◎いろいろな分野に触れることができ面白かった。
- ◎さまざまな分野に触れられてよかった。関係がないように思われた各学問分野がつながる瞬間があって、その際の喜びが大きかった。
- ◎講義中、後ろの方の席に座らざるを得ない時、声が聞こえにくかったり板書が見づらかったりなど、授業にとっつきにくかった。
- ◎学部でどの系に進みたいかは決まっていたが、全学共通科目でそれに関連した授業を受けているうちに、具体的に自分がどんなことに興味があるのか気づいていくことができた。
また、専門科目としては勉強できない他の分野の授業も受けられて、知識が増えていくのが楽しかった。健康心理学や、生活習慣病入門など、実生活に即した授業が、単なる勉強ではなく実際に役立つ授業だったので、ためになった。

8. 4 法学部

- 専門科目の受講に必要と考えられる基礎知識を幅広く身に着けることができ非常に満足した。
- 興味深い授業とそうでないものの差が激しかった。
- 後期の英語の課題が多くて自分が関心を持っている分野の勉強時間を確保するのが大変だった。
- 単位ってなんだろう。
- 概ね期待通りだったので、この水準を維持して頂きたい。
- 興味が湧かない授業が大半だった。
- 文系の人でも研究の盛んな京都大学の理系の授業を取れたのは、総合大学ならではの強みだと思う。また、そのような環境で学べたことも有意義だったと思う。
- 理系の最先端の研究について関わることができる文系用のポケットゼミなどがあったら面白いと思いました。
- 楽しさ。
- 幅広い分野の学問に触れることができた。
- 一人、全共科目の講義で素晴らしい教授に出会うことが出来たが、専門科目との兼ね合いもあって2回生以降で全共科目をとることが難しく、また卒業に必要な単位もすでに満たしているため講義を受けることに高いハードルがあるのが残念に思う。全共の必要単位を増やすことに関しては反対だが、専門科目の必要単位数と少し兼ね合いを取れないものかと感じた。
- 質の良い授業と悪い授業にかなり差がある。
- 専門的な分野になっても、意外とその分野以外の事柄が密接に関連してきて、そういった、幅広い知識が必要になってくるんだなあと思いました。
- 幅広く興味のある内容を学ぶことができ有意義であった。ただ、単位の取りやすさだけで履修した科目から学んだことはほとんどなかった気がする。
- 幅広い知識を得ることで自分の興味範囲を広げることができたので非常に良かったと感じています。
- 般教は浅くてあまり勉強にならなかった。

- 曲がりなりにも様々な分野に触れることができ、浅くはあるが多少の見識も得られたと思う。また、自分の専門科目以外に、とても関心のある分野ができて、今後学んでいきたいと思った。一方で、文系にとって、数学・物理・化学の科目があまり充実していないと感じた。文系向けに初歩から始めるものの、一年後には意欲があれば理系向けの科目もとることができるような骨太な科目があってもよいと思った。今の科目は、初歩だけで終わっているだけな気がする。
- ◎転学部を考えるようになりました。
- ◎これが学びたいという科目、時間割を組むときにふと興味を引かれた科目のどちらも面白かった。もっと受けたい授業もあるが、法学部の専門科目が増える二回生以降に全学共通科目を受講できなくなるのが残念。
- ◎法学にとらわれずさまざまなことも学べておもしろかった。もともと好奇心旺盛な方なので。
- ◎単位と興味は別である。私は、楽勝科目と言われている授業を履修登録し、授業にはほとんど出ずにテストだけ受けて単位を得た。しかし、履修登録していないが、興味のある授業には、積極的に参加していた。全学共通科目には、面白い科目が多いので、もう単位は揃っているが、これからも興味のある授業には参加しようと思う。
- ◎自分の専門分野のことや仕事のこと、考え方を楽しそうに語る教授の講義は、多少内容が分からなくても興味深かった。学生の知識の限度に配慮していただくことは必要だが、高校の授業のように「理解する」ことではなく「興味を持つ」ことを主目的にした講義があってもよいのではないかと思う。
- ◎ポケゼミが楽しかったです！
- ◎学部の専門科目だけでは決して学ぶことのできない多様な知識を取得することができたように思う。新しいことを学び、知ることを楽しみを感じた。
- ◎あらゆる分野の専門家の話を聞き、いろいろな生き方があると感じた。教養により人生がさらに豊かになると感じ、学習意欲が湧いた。

8. 5 経済学部

- 英語の授業が要らんなあと思った。
- 教員の皆さんに大変熱心にご指導いただきとても感謝している。なかでも、語学や少人数のゼミナール形式の授業では密度の濃い授業をしてくださり大変有意義であった。また、どの教員におかれても尊敬すべき人ばかりで、その点でも貴重な経験になった。ただ、担当教員によって、単位取得の難易、成績評価に跛行性がありすぎるように感じる。安易な単位取得を認めない方針ならその方向で全科目統一すべきである。自分が受けた授業ではないが、楽単科目への学生の過度の集中をみると、その教員は何とも思わないのか疑問に思う。
- 幅広い分野から撰ぶことができ、とてもおもしろかったと思う。ただいろんなものに手を出して、收拾がつかなくなってしまったのは反省。しっかりと吟味して厳選すべきだった。
- 僕は英語の授業に関して少し不満を感じました。大学では高校までの勉強の知識をもとに運用力を向上させたいと考えていたのですが、実際の授業はあまりそれを望めるものではありませんでした。実習では発話や聴解、特に実践的な発話訓練が乏しく、文法の授業もそうですが、クラスでわいわい楽しむという雰囲気しか感じられません。1回生の間くらいはクラスでまとまってという部分は必要かもしれませんが、大学の英語授業はホームルームではなく英語学習の場であるべきだと思うので、より実用性があり本格的なものであることを求めます。
- 幅広い学習ができて楽しかった。

- 面白い授業と面白くない授業が明確だったと感じた。
- 自分が人生をかけるに値するテーマを見つけられました！（※※※論）
- 出席による成績評価を行うのはやめたほうが良いと思いました。出席するだけで良いなら教室に来て寝ていればいいわけで、出席と成績を関連付ける意味はよくわかりません。まじめに授業を聞いてレポートを書いたり、授業には来なくともキチンと調べてレポートを書いたり、多様な方法で学習をすすめることができるのがレポート評価の強みでしょう。（教員の負担は増加しますが）できれば期末レポート方式による評価を充実させて欲しいと思います。
- シラバスで興味を持って、実際に受けてみるとあまり面白くない授業が多かった。多くの教員の方が一人どんどん先に進んで、学生が理解しているかを確認することを蔑ろにしていると思う。もちろんきちんと学生とのコミュニケーションをとってくださる教員の方もいらっしゃるし、そういった方の授業は年間通じて学生の出席率が高かったように感じる。
- 楽に単位が取れる科目と難しい科目の二極化がすごい。全学共通科目用の教室が清潔でない。
- 知識欲を掻き立てられた。
- 採点が科目によってばらつきがあり、GPAが重要であれば楽な単位で高得点を取れば良いのではないか、と思い全体的な採点方法に疑問を抱いた。全学共通科目の平均点を揃えて補正した点数で考えるべきではないか、と思った。
- 専門科目との兼ね合いで、取りたい授業を取れず、さして興味のない授業で単位を揃えることになってしまった。
- 授業に出ていない人間への評価・対応が甘いと感じた。毎回出席している自分にとっては不本意でしかなかった。
- 学生がやるきないから教員もあまりやる気ないだろう。
- ◎採点が適当すぎる節がある。また、面白い授業とつまらない授業の差が激しすぎる。

8. 6 理学部

- 専門科目のほうが楽しい。
- さまざまな分野の授業を受けることができよかった。
- 勉強に対する活気が大学内に見られないと思った。
- 先生の話の聞いているだけでは真の理解には程遠い。近くで一緒に授業を受けている友人と授業時間外に議論したり、勉強したりしたことが非常に有意義だった。そういう意味で、教師の質はそこまで問題にならなかった。むしろ友人のやる気と才能が必要だった。しかし、そうした要求にこたえてくれない人はほとんどいなかった。そういうわけで結果的に充実した学習となった。
- 専門科目と全学共通科目を二重登録できたのが良かった。
- ある程度入学前に、大学で何を勉強・研究するか決めていたが、それをより輪郭のあるものにしたいと思っていた。そして常にしたいことはこれなのか、これに一生をかけられるのか、と自分に問いかけていた。よって、研究者として生きていく以外の道も無視せず、自分の能力・器量・将来を天秤にかけて過ごしてきた。全学共通科目で色々なジャンルの科目を自分の興味に応じて履修してきたのもそのためだ。僕は元々地質学がしたいと思っていたが、自分を見つめ続けて今やそれを手段として学際的に古生物を研究したいと思っている。これが自分の進むべき道なのかは分からないけれども、この結論に至る過程に全学共通科目での思索は存在したように思う。
- 幅広い知識が得られたが、内容が浅かった。
- 学問の地平はどこまでも広い。

- どのような講義でも結局自分の予習・復習が大切ということを痛感した。しかし興味が無い科目についてはどうしてもやる気が起きないので、まずはその科目の面白いところを見つけることが大切と思った。
- 一般教養から専門基礎まで、学問の幅広さを感じる事ができた。ただ、もう少し教員の普段の研究のことについての話を挟んでほしかった。
- ・理系の講義が黒板をうつす作業だけになりがち（予めレジュメを用意してもらえれば自主的に考える時間を取ることができる）
 - ・英語の非常勤講師の質を管理してほしい
 - ・授業中に飲食する教師を見るのが不愉快
 - ・物理学実験の内容が重すぎる
- なんのために生きるか。
- 前期はゆとりを持っていたので英語もそこそこ頑張っていたが、後期は忙しくて英語までしっかり手が回らなかった。英語は意欲をもって学ばないと全然身に付かないな、というのを実感した。外国語科目に単位のためにいやいや取り組んでいる人をよく見かけるので、気楽に英語で話したりする経験ができる場所があればなあと思う。
- 今後、学部の専門科目に向けて基礎となる科目については総じて充実したものであった。一方で、専門にならない一般教養科目のなかにも興味があるものがあるにも関わらず、楽単のレッテル(事実、楽単である)がゆえに単位ほしきの学生が集中し、結果的に真に学びたいと思う学生が履修できないことは非常ゆゆしきことである。抽選を行った科目については、意図的に出席しなかったり楽単した場合にはペナルティを課すことが必要である。また、抽選を行うような科目は履修取り消しの対象とはしない方がよいのではないか。
- 教養科目（とくに人文社会科目）は退屈だと思った。
- キャップ制が邪魔。
- 数学と力学について、勉強不足だと感じた。
- あまり授業に出ていなくてかつ元から授業内容詳しく知っているわけではないのに、単位が取れる授業や、逆に授業への出席だけで内容をあまり理解していないのに単位が取れる授業があるのは、学生の自律的な勉強を阻害すると思います。大学全体として単位取得の条件を厳しくし、楽な単位の取らせ方を行う教員には指導をしていただきたいと思います。
- 他の学生の受講態度がとても悪く、授業に集中できなかった。授業中の私語が多く、他人のことにお構いなくスマホで撮影する学生が多い。写真の中に他人が写っても謝りもしない。肖像権が侵害されてとても不愉快だった。ほとんどの教員がそれらの行為に対して何も注意しなかったなので、余計腹が立った。
- 面白そうな授業に「楽単」というレッテルが貼られており抽選落ちを経験したのは少しショックであった。また、面白そうと思い履修したものの学部の問題で認定科目にならなかったの（できれば）学部に対応した認定科目か否かを表示できる機能があればとてもとても嬉しい。それは過剰な期待だとは思うのでせめて学部の認定科目一覧を……と思う。
- 二外はクソ。
- 大学の勉強は難しい。
- 特に何も感じませんでした。不満はありません。
- 1年目は休学していたのでなんとも言えませんが、2年目に入った今、意欲をもって取り組んでいます。
- ガンバロウ！
- わりと内容が授業ごとにかぶるのを何とかして欲しい。

- キャップ制は廃止してほしいと思っていた。全体的に教室に人数が多すぎて辛かった。興味のない科目を取らなくて良い理学部のシステムは不幸中の幸いと言った感じであった。二重登録の廃止はやめてほしい。自分の好きなことを勉強するために大学に縛られているような感覚があつて残念であった。もっと自由に勉強したい。
- ◎自分の専門以外の科目に触れられたのはよかった。
- ◎自分の進むべき道が分からなくなっている。一応入学当初に進もうと思っていた分野の勉強はしているが、自分は本当にこの分野の研究に向いているのかと、何となく不安を感じる。
- ◎語学の評価がクラスによって大きな差がある。特に第二外国語(※※語)が真面目に勉強しても難しすぎて単位がとれない。
- ◎自分の専門の基礎となる科目から教養としての科目まで幅広く学ぶことができ、様々な分野の研究が行われていることを知れてよかった。
- ◎いろいろな分野をまんべんなく取ると面白い。

8. 7 医学部

- 単位取得の条件が厳しく、取りたい授業を取れなかった。抽選落ちることが多すぎた。
- 幅広い分野を知ることができて良かった。ただ、教員との交流が週一の授業のためにどうしても薄くなりがちなのは残念であった。
- 自分は英語論文がやはりまともに書けないということ。
- 前期は良かったが後期は部活に全力を注いってしまった。
- 1年間受講したことにより主体的に勉強することの必要性を強く感じた。授業に関しては特に求めるものはないが、入学したての1回生に対して受動的に講義を受けることがいかに退屈で時間の浪費であるかを説明する機会をもう少し設けるとよいように思う。
- 興味のある科目をやるべき。
- 教授に突き放されているような感じを覚えた。塾や予備校ほどに、聞かせる講義までは求めないが、もう少し訴えるものがほしい。
- 単位を取ることに精一杯となっている人が多かったように思う。
- ◎興味のある科目を自由に選べて学べたので、全体として楽しかった。
- ◎高校と違い、はっきりとした所属がないことに漠然と不安を覚えた。友達と取る授業がバラバラなので、あまり交流を深められなかった。
- ◎テスト前がすごく不安でした。友達や先輩にどのように勉強したらよいかを聞き参考にして対策を進めました。おもしろい講義などもあり、次に何のテーマでどのような内容の講義が聞けるのかがすごく楽しみでした。
- ◎一つの分野から様々な方面へと学問が繋がっていることを講義を通して改めて感じられた。
- ◎これからの社会では幅広い知識が必要で、専門以外を学ぶ大切さを実感した。自分の専門には関係ないように思える科目でも学んだことを忘れずにこれから生かしていきたいと思った。
- ◎専門知識がない人にわかりやすいものから、最初から理解不能で予備登録したもののやる気をおこさせない科目まで幅広かった。確かに教授側からすれば単なる一般人への授業で自分の研究に役立つ可能性は限りなく0に近く無益かもしれないが、あのような授業の仕方では学会でもまともな意見交換などできているのか、など考えさせられるところは大きいがあった。
- ◎色々なことを学べてよかった。
- ◎研究の楽しさが垣間見えました。
- ◎専門的な内容が多く、楽しかった。

8. 8 薬学部

- 全学共通科目の中でも、自分の専門分野に関わる内容を取り扱う授業はとても興味深く楽しかったです。しかし、専門分野以外の科目(個人的には人社群)に興味を持てたのは最初の頃だけであって、長続きしなかったです。
- 自分の答案でどこが間違っていたのかわかるようにしてほしい。問題ももらって復習できるようにしてほしい
- 授業の予習・復習の重要性を実感した。
- 楽しかったが、もっと自分の専門に関する科目も多く受けたかった。
- これから専門にやることとは関係ないが、関心のあることを多く学べて楽しかった。
- 高校までの勉強と大学での勉強の違いに気づき、大学での勉強法に移行するまでに結構な時間をかけた。
- ◎入学当初は勉強に対する熱意があったが、あまり真剣に授業に取り組んでいない人もいて、やる気をそがれた。大学生はもっと真剣に授業に臨むものだと思っていたのがっかりした。授業の内容自体は大変興味深いものばかりで満足だった。
- ◎おもしろいと思える授業に出会えたのは、良かったと思う。私としては、興味があって受けたいと思った授業だったのに、ラク単だからという理由で受講を希望した人が多く、抽選になった科目があったことは、非常に残念だった。
- ◎自分の専門分野に関わりのない部分での知識を得ることができ、より豊かな発想の助けになった。

8. 9 工学部

- 自分の興味のあることは案外ふとしたことで気付くことが多いから、いろんな分野に手を出してみるのもいいかなと思った。
- 豊富な授業があるのがとても嬉しかったです。
- 専門に必要な物理学、数学の知識の定着が甘いなと思った。
- 京都大学は神だと思った。興味のない科目は全く勉強せずに単位を取ったが、興味のある科目はかなり勉強して単位を取った。おかげで自然群はかなり身に付いた感覚がある。
- 学問の難しさと楽しさを感じることができました。
- 自由でよいです。
- 人社群、外国語群、拡大群と自然群の理科や情報学に関する分野は、全学共通科目を履修したことで今までの知識がさらに増えて面白く、ためになった。しかし、入学以前から学習に不安を抱いていた、自分の不得意分野である自然群の数学に関する分野は、授業を十分理解できず、成績評価も良くなく、あまり実りのあるものではなかった。今後専門科目を学ぶ上で数学は必要不可欠であるが、その際数学的解法を覚えていて正しく使えなければ意味がないと思う。したがって、将来どの専門分野でも必要になるであろう数学的解法をしっかりとマスターできるような全学共通科目の数学の授業が理想的だと思う。そのために、授業で丁寧に解法を解説するか、演習問題に取り組む時間を増やすか、定期的に小テストを行うか、添削付きレポート課題を毎週出題する、といったような取り組みが必要だと思う。また、大学受験の参考書「チャート式」のような、解法が丁寧に書かれている教科書や参考書があれば、学生の自学自習の意欲がかきたって非常によいと思う。
- 一回生のうちに人社群を取りきってしまうのは勿体無いと思った。京大らしくはないが、取得可能な人社群は半期最大4単位までなどと決めて一回生の専門科目を増やした方が、毎年人社群の授業を取れて良いと思う。人社群に楽に取れる単位が多すぎる。

- 専門科目では触れることのない幅広い分野を学ぶことができ良かった。
- 自分が真剣に取り組んでいる一方で、不真面目な学生が多く見受けられた。(特に自分が後ろの席に座ってしまった時は、講義を聞かずに携帯などをいじっている学生が多かった。)そのような学生への注意喚起が一部の教科において不十分で、真剣に勉強する学生の妨げになる。個人の自由であるからそのような行為の禁止を求めるわけではないが、そういった行為を黙認するつもりなら履修選択の参考にするので、その旨を初回授業で明確にしてほしい。
- 大学の学問が非常に精緻で専門的、そして奥が深いことを理解できた。
- 人社群は履修する必要性を感じない講義が多すぎる。
- 履修時における抽選のシステムが不満。例えば同じ6つの講義に応募して6つとも当選する人と6つとも落選する人がいるのは、いくら抽選とはいえ卒業単位が取得できるかどうかに関わるのでおかしいと感じる。
- 理系だと思って工学部に入学したが特技や好きなことが文系学部が多いことが分かった。
- 単位のためだけに受ける授業の虚しさ。
- よりよい一年にしたい。
- 授業に出ずに単位が取れるような評価の方法に違和感を感じた。
- もっといろんなことを早く知りたいと思った。
- 今のところは不満はないが、だんだん授業の取り方が縛られ、必要な単位数が増えていくところを考慮すると、その内京大が京大らしさを失い、東大劣化版になってしまうのではないかと心配しています。京大は京大らしくあるべきと思います。
- やる科目が多くてとても大変だった。
- 自らの不勉強さを感じた。
- 全学共通科目の講義に最低限の出席だけして単位を取り、出席しなかったときの時間を別の専門科目の勉強などに充てていた学生(同級生)を見て、自分が履修した全授業に出席するのは間違っているのではないかと思い悩んだことがあったが、実際1年間大学の講義を受け続けて、毎回出続けているからこそ得られたものもあったと感じたので、これからも履修した授業を大切にしようと思った。
- 教授たちの自己満足に終わっている授業がよく見受けられたのもっと学生たちに理解でき自分のものにできるような授業を考えてほしいと思った。
- クラス指定の科目でほぼ時間割が埋まってしまい、またそれらの科目以外は単位認定されない工学部のシステムは、京都大学のうたう自由の学風とはかけ離れたものを感じた。工学部の生徒であっても生物系の授業などを学ぶことは意義のあることだと思うし、それも含めての教養教育であるように思う。押し付けられた科目ばかりで時間割を埋められてはモチベーションも上がらない。
- 大学での授業に期待することは親身の指導ではなく、先生方の研究者としての情熱や知識を感じることです。教員の先生方はみんな研究分野では一流であると信じます。その上で初級者を指導することが得意な方も不得意な方もいらっしゃると思いますが、先生には好きなように授業を進めてほしいです。それが分かりにくければ学生が努力で補うのが筋だと思います。もし分かりやすい授業であれば(もともと説明が上手な方なのか、教育に情熱を注いでいらっしゃるのかはわかりませんが)ビジョンに満足です。このような意味で、出席点を重視することには私は反対です。また、カリキュラム又は教科書を淡々となぞるだけの授業には魅力を感じることができません。自由な授業、また、自由な履修を期待します。
- おもしろい授業もあったが、特に数学の授業では、難しくわからないことが多く、授業もわからなかったので、挫折しかけた。

- 第二志望の学科ではやる気が出ない。
- 一般教養の意味のなさを痛感しました。別にサボっていたわけでもなく、素直に授業を受けていたのに、前期に習ったことが今では何一つ思い出せ無いです。こんなことだったらアルバイトをしてお金を稼いだ方が幾分かマシです。一回生の初めから何をしたいのかっていう大体の分野や科目の検討はついていたので、僕としては一回生のあいだはお試しているような専門科目の体験を兼ねた授業を展開して欲しかったです。とりあえず、一般教養は学費を払ってもらっている両親に申し訳が無いほどの実りのなさでした。
- 自分の得意不得意がわかりました。前期後期共にかなり頑張ったつもりなのですが、よい成績をとるべき教科の点数がいまいちという感じでした。まだまだ頑張らないといけないということを痛感しました。
- 京大は単位がふってきてこそ京大であり、1%の天才でなりたっていることが実感できた。
- 工学分野の勉強がしくて物理工学科に入ったのに卒業要件の人文社会系科目や第二外国語に時間を取られ、本分であるはずの理数系科目の勉強に十分に時間を割くことができなかった。また理数系科目にしても評価の基準であるテストの過去問から変化が少ない科目などはより一層勉強の優先度が下がってしまい、結局あまり身につかなかった。何のために大学に入ったのだろうかと思ってしまうこともあった。
- 工学部なのに第二外国語を履修しなければならないことが未だに理解できない。これを履修している時間があれば英語を勉強してる方がよっぽどマシ。
- 大変だと思った。
- テスト前に勉強したら良い。
- 自分なりのペースを崩さないことが重要だと感じました。
- 全く役に立たないような講義が多い。
- ポケットゼミが非常に楽しく有意義だった。できれば1科目だけでなくもっとたくさんうけたいと思った。
- 授業外の勉強の大事さを感じました。
- 様々な分野の表面に触れることができよかったですと思う。
- 教授の話が面白くない授業があった。
- 殆どあらゆる分野を学ぶことが出来るのは有難いと思った。その一方で工学部などはクラス指定科目を時間割に入れるとあまり余裕が無くなってしまうのは残念だった。
- 幅広い分野に触れることができ良かった。
- 何の為の勉強なのか分からなくなる。政治や経済の講義にしてももっと現代政治や現代経済について知りたいと思った。実用的な知識を身に付けたいと考えているが大学の講義がそうとは思えない。
- クラス指定の縛りがきつすぎて自由が利かない。特に英語なんて1年同じ教員指定は不満極まりない。現に後期は履修すらしなかった。1回生のうちからCALLを履修できるようにしてほしい(再履修でなくとも)。たとえ全員が単位をとれる科目であったとしてもつまらないのならばそんな授業は受ける価値がない。次年度以降に回してその時間を別のことに使うほうがいい。この制度を崩すと卒業できない学生が多くでてしまうのかもしれないが、そんなものは本人の責任なのだからわざわざ大学側が世話してやる必要なんてない。
- いわゆる「楽単」と言われる、単位取得が非常に容易であるという噂の講義に対して、特に興味もないのに受講希望をする学生が大勢いることを知り、全学共通科目を選択する意味について悩んだ。クラス指定が多く、同じ学生と授業を受ける事が多い中、周囲のこのような雰囲気も学習意欲が衰えた一因ではないかと思う。

- 人社群の授業において、多様な分野の授業があり、自分の興味に従って自由に選択できたのが良かった。
- 何度も履修方法に窮屈さを覚えた。話を聞く限り、昔の方が自由があったと思う。
- レポートの手本がないので、また書く内容も自分で準備しなければならないので、苦勞もすれば嫌気もさし、結局は提出期限がせまり、杜撰なレポートを書いて提出するしかない。それでまた先生に申し訳なく感じる、たまには単位もなくなる。こうして、勉強の大変さを知って、次からはコマ数を減らそうとしたら、やった方がよいと思われる科目が多くいて、授業が始まる前に疲れる。それでも、行くしかない。
- 心理学は面白くないことに気付いた。
- 特に人社系科目を受講したことにより、社会への視野が広まったと思った。
- 専門外でも興味のあることについて講義を受けることができたので良かった。
- クラス指定のせいでなかなかとりたい授業が取れない。
- これが大学の授業か、予備校の方が面白かったな。
- 大学に想定していたような授業が多かった。
- 大学の数学は難しいと感じた。
- 結局真面目にやるが一番いいということ。
- 勉強に熱意ある学生が少ないので、互いに切磋琢磨する機会がない。
- 指定科目が多くて自由に受けられない。
- 自分の納得するまで勉強できた。
- 予習のやり方がイマイチわからなかった。
- コツコツと勉強することが大事であること。
- あまり学んだことが身につけていないように感じた。
- 人社群の科目は自然群と比べて、自分が今まで全く触れたことのなかった分野の内容を多く知ることができたので、新しく研究分野を知ることが出来て感動した。特に心理学や行動病理学といった人の心に着目した講義は自分を見つめ直す手がかりにもなり、心に響いた授業も何度かあった。
- 自分の興味のある内容の授業を受けられる楽しさ。
- 自然群の授業の多くでは、教えられたことをとにかく覚えることが中心となっていて、学ぶ楽しさがあまり感じられなかった。
- 例えば同じ学科における同名の講義でも、クラスによって担当の講師が異なり、その講師によって単位の取得難度や好成績の取得難度が大きく異なることがあり、これはクラス分けの時点で不可抗力であり不公平感が否めない。
- 般教の物理の授業で全く物理についていけなくなったが、また別の般教の物理の授業で物理が面白いと思えるようになった。あと授業は真面目に出席したほうがいいことに気が付いた
- 知識はついたかな。
- 単位を取るのには難しいんだなと思いました。
- 色々な授業があって面白い。
- 工学部の学生だが、人文系の科目は多様な方法論・考え方へ目を向けるきっかけとなった。
- やっぱり般教はつまらん。特に外国語。何のために二外やってんの？教育院の自己満足か？※※語使う機会があるか？物理工に。しょうもない外国語に時間使うくらいなら他学部の専門の講義受けさせたほうがよほど互いの為になると思うのだが。
- せっかく総合大学に入ったんだから専門以外の分野に触れる機会があった方がいいんじゃないのと思っていた。

- ◎普段はあまり勉強していない学生が多いがテストになると要領の良さで乗り切れていると思った。それができない人には厳しい環境で劣等感を感じた。
- ◎内容が浅すぎるからか、関心がなくなっていた。
- ◎自分で勉強することの大切さを知りました。もっと図書館の席数を増やす、もしくは開館時間を延ばして欲しいです。
- ◎国際コースの人が選べる授業が少ない、そして私たちはそんなに興味なさそうな授業しか選べない。
- ◎教授と学生のコミュニケーションは不足だと思う。時々わからない問題があっても、教授のメールアドレスや連絡先が知らないので、困りました。
- ◎やはり興味が持てないと眠くなってしまった。

8. 10 農学部

- ほとんどが高校の延長。教師の説明の仕方によっては高校未満。
- 今までの自分の考えの根底にあったものが、ひっくり返されたことが何度かあった。
- 数学や物理等は、高校で学習した知識に基づいて一層理解を深めることができました。また、高校まででは学習する機会がなかった、心理学や哲学を学ぶことができました。さらに、どの授業も最先端のテーマや貴重な資料・機材を扱っているので、第一線の研究の末端に触れているように感じられ、毎回胸が躍ります。前学期で得た幅広い分野の知識をこれからの専門の授業において、どのように活用できるか、どこで関連してくるか、すごく楽しみです。
- 授業によって当たり外れが大きいなと感じました。ある授業はわかりやすく面白いものでしたが、ある授業は淡々と黒板に文字を書くだけで熱意が感じられませんでした。自由の学風というからには選択の幅が広いのだと思っていましたが、必修科目やクラス指定科目など、意外と縛られることが多くて残念でした。
- 教養の重要さが身に沁みました。
- レポートを書くことの難しさ。
- ・学問分野がとても広く科目の多さに魅力を感じた。
・英語学習にはもっと力を入れるべきだと感じた。
- 専門外にも面白いと思える分野があった。
- 自分の専門に直接関係のない授業の方が、新鮮味があり面白く感じられた。不満としては授業によってテストが受けっぱなしの状態、解答例もなくかつ答案も返してくれないまま終わるのは復習もしにくいので、改善してほしい。
- 人社群の科目にありがちな評価方法であるが、最後の定期試験一発で成績を決めるのはいかななものかと思う。評価方法を何回かに分けて、さらに具体的に生徒を評価してもらいたい。
- 様々な分野に関してもっと深い知識がほしい、専門分野まで知りたいと思うようになった
- 中には教員が最先端の研究について語ったりなどしてかなり興味を持てた。
- 国際高等教育院の存在意義について考えさせられることが多かった。
- 予備知識の少ない分野の講義のほうが楽しかった。
- 勉強しないとなと感じた。
- 専門的な基礎知識を学んでもっと応用的なことをやっていきたいと思った。
- 京大の教授はやる気のない人もいて、その人の授業は面白くなかった。もっと熱意をもってやるべきだ！
- 自学が大事。
- 専門の勉強は楽しいのに全学は楽しくなかった。

- 大学の講義って担当する教授によって全く違うんだなと思った。その人がどんなに頭が良くてもすごい人でも予習や事前知識前提で生徒も知ってて当たり前と思って話している人の授業は頭に入ってこなかった。逆に生徒の様子を見て丁寧に説明してくれる人の授業はその分野に興味湧いてきて意欲的に参加できた。上で挙げた満足した科目は特に教授としてよりも人間として尊敬できた人の話が聞けたので満足できた。大学に行くためには働かなければならず、一度きりの大学生活でサークル活動をしなないというのは人生を大きく損していると思うので全学共通科目の負担が少なく生徒の自習に任せ専門ではある程度求められるという仕組みは個人で勉強の占めるウェイトをある程度調整できるので良いと思う。大学生は勉強だけしてればいい時代ではないので全学共通科目で生徒に厳しい要求をする講義が減れば良いと思う。今年の新入生はE科目が導入されて本当に大変だと思う。大学側はまともに教える気は無いのに負担だけ増やして生徒任せなのはどうかと思う。新入生が追い詰められて苦しまないか心配だ。
- 専門分野に直結することはあまり学べなかったかもしれませんが、幅広い知識を身につけることができたので良かったと思います。全学共通科目で学んだことをこれからの専門分野の勉強に生かしたいです。
- 違う分野でもどこかしらでつながっているのだということ
- ◎意欲のない生徒を教員が見て見ぬふりをしているような感じが得られた
- ◎興味のある科目が特定の曜、時限に集中しており、興味があるにも関わらず履修できない科目が出た。その一方で、興味がある科目がない曜、時限もあり、時間割編成をもう少し考えてほしいと感じた。前期に関しては、クラスでの履修登録に慣れず、取りたかった授業が取れなくなってしまうことが多かった。もう少ししっかりしたサポートがあればよかったと思う。
- ◎興味のあることに対しての知識は増えたと思う。そのような授業時間は楽しくてしかたがなかった。
- ◎自学の大切さを学びました。勉強すればするほど結果が残るし、ためになる授業がほとんどなので、自分から学び取る姿勢が大切なんだとわかりました。
- ◎大学での勉強は自主性が大事だと身にしみてわかりました。
- ◎専門と異なる分野にも面白い内容が多くあった。
- ◎専門では学べない内容について幅広く知る機会があるのはいいことだと感じた。
- ◎外国語が好きで、一回生のとき取っていた※※語を二回生でも継続するとともに※※語も取り始めました。どれも面白い先生に当たりどちらの言語も楽しく学んでいます。第二外国語の講義が豊富に開講されていて有り難い限りです。これからも続けてください。
- ◎自分が専門にしたいと思っていない分野の講義も新しい視点が学べておもしろかった。
- ◎※※※学がとても興味深いもので、受講できて本当によかったと思います。興味のない人文社会学系の分野の勉強が嫌でした。
- ◎様々な知識を身につけました。

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A (満足した科目)

あなたが特に満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(人社・自然・外国語・現社・拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)

B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(人社、自然、外国語、現社、拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)



平成28年度2回生進級時アンケート報告書

平成29年3月 発行

編集 京都大学国際高等教育院

発行 京都大学国際高等教育院

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

Tel 075-753-6690/6513

平成 28 年度 2 回生対象(平成 27 年度入学生)
 ポケット・ゼミに関するアンケート調査結果について

H27 年入学者数										
総	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	合計
126	223	63	337	253	322	257	83	984	318	2966
回答者数										
総	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	合計
15	28	2	18	17	58	14	10	97	25	284
回答率										
総	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	合計
12%	13%	3%	5%	7%	18%	5%	12%	10%	8%	10%

調査期間:2016/3/26~2016/5/16

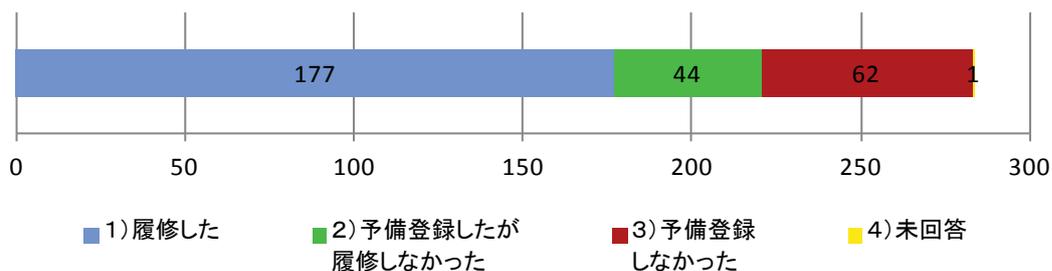
対象学生:新2回生(平成 27 年度入学生)

申込者(第3希望まで選択可)										
総	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	合計
232	488	107	642	475	611	276	223	1726	697	5477
当選者										
総	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	合計
79	136	35	198	148	184	86	68	532	217	1683
履修者										
総	文	教	法	経	理	医	薬	工	農	合計
75	129	33	182	139	176	79	66	495	197	1571
60%	58%	52%	54%	55%	55%	31%	80%	50%	62%	53%

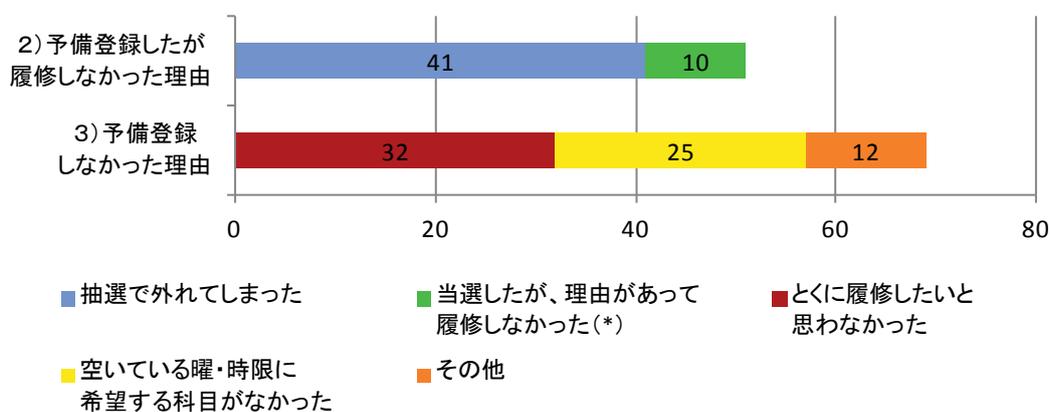
(参考資料: H27-ポケゼミ開講科目一覧)

注意: 記述は学生が入力したものを修正せずそのまま掲載している。
 但し、個人が特定できるような文言は削除のうえ掲載している。

○ポケット・ゼミを履修しましたか？



- このうち、「2) 予備登録したが履修しなかった」「3) 予備登録しなかった」と回答した者に対し、理由を尋ねた結果、以下の通りとなった（複数回答）。



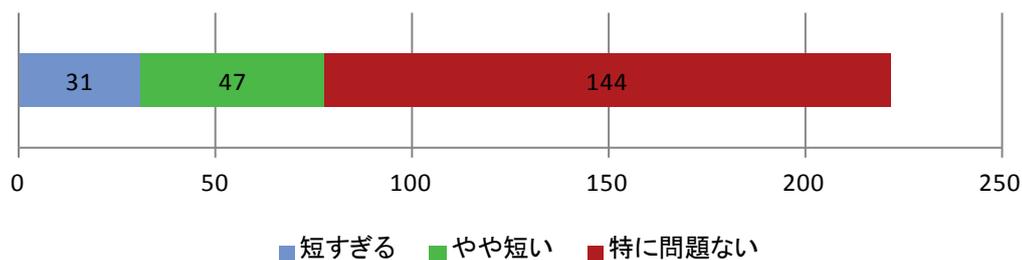
(*)内訳：希望順位が低かった(3名)、履修できない曜・時限だった(3名)、授業に出たが興味を持てなかった(2名)、その他(2名)

○予備登録をした人への質問

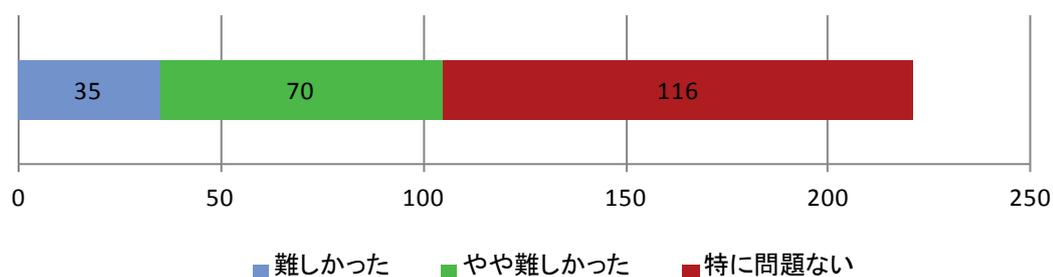
1. 予備登録の日程について

(参考)平成 27 年度の予備登録期間：4月2日(木)9:00~4月8日(水) 9:00まで

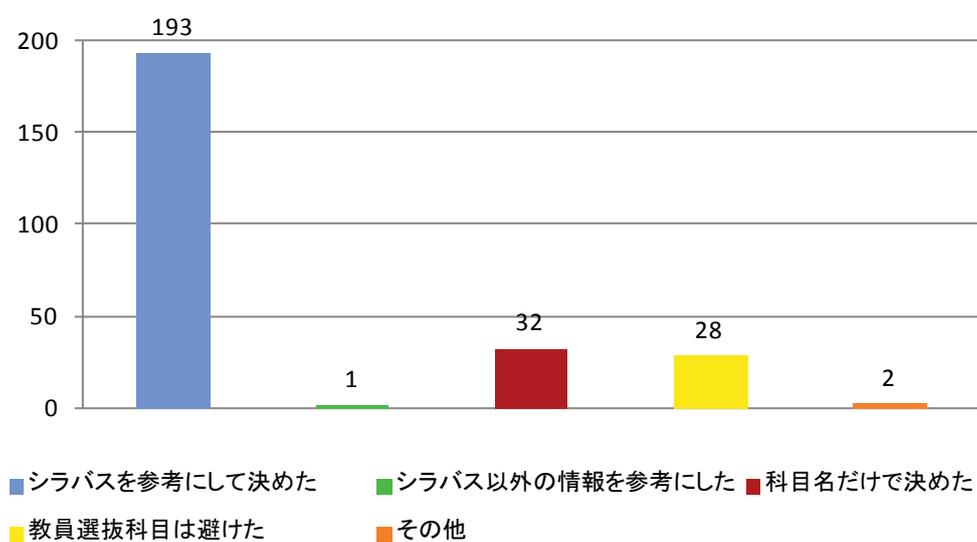
履修登録ページオープン：4月2日



2.空いている曜・時限の把握について



3.科目の選択について(複数回答)



■科目の選択について・・・2) シラバス以外の情報を参考にした 具体例について

・ポケゼミー一覧の冊子【総人・女性】

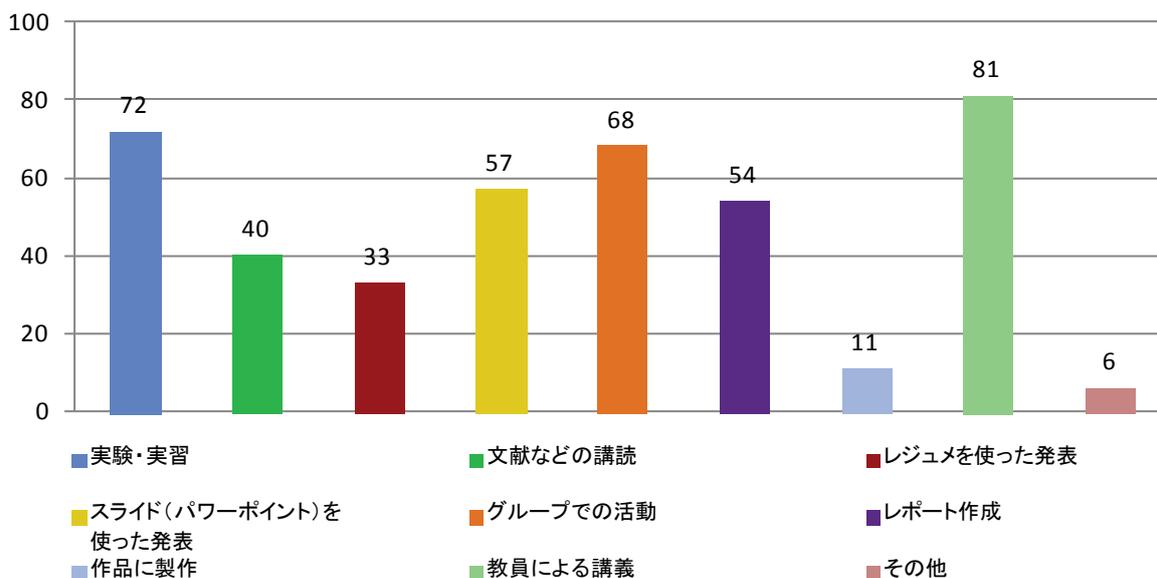
■科目の選択について・・・5) その他 具体例について

・主に空きコマ【工・男性】

・空いた曜時限を埋める形で【工・男性】

○ポケット・ゼミを履修した人への質問

1.授業で課された活動はどのようなものでしたか(複数選択可)



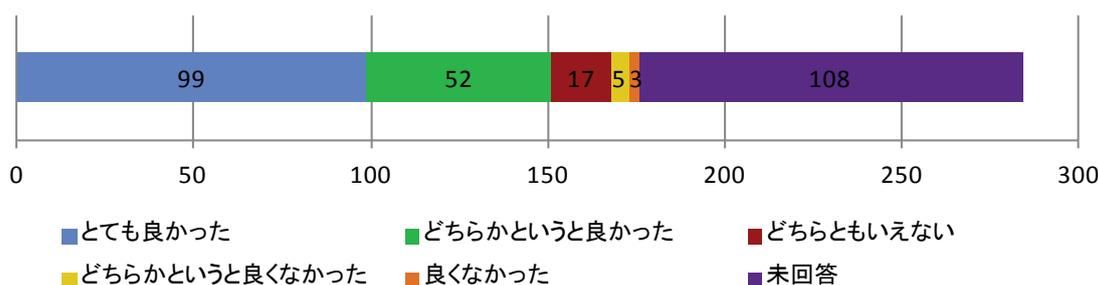
◆「作品に製作」と回答した人 具体例について

- ・ハイスピードカメラで面白い映像を作る【総人・女性】
- ・電子工作【総人・女性】
- ・Arduino を使った作品【工・男性】
- ・PC ゲーム【工・男性】
- ・ショートムービーの制作【工・男性】
- ・プログラミング【工・男性】
- ・ポスター【工・男性】
- ・電子回路を各々制作し発表した。【工・男性】
- ・OCaml を用いたゲーム制作【理・男性】

◆「その他」と回答した人 具体例について

- ・博物館でのワークショップ作成【総人・女性】
- ・討論【法・女性】
- ・囲碁を行う。【理・男性】
- ・教員との討論【工・男性】
- ・テキストを用いて学生が順番に講義【工・男性】
- ・文献の整理【農・男性】

2.履修した科目について



3.高校までの授業や他の授業との違いなど、履修した科目の感想

注)個人が特定される文言は削除しております。

- ・実習があつてとても楽しかった【総人・男性】
- ・答えのないものを模索していくのが新鮮だった【総人・女性】
- ・アートと呼ばれるものを考える機会にはなったが。【総人・女性】
- ・受動的に受ける授業ではなく、学生が能動的に受ける必要があるところが良かった。【総人・男性】
- ・高校までの授業よりも専門的で興味深かった。【文・男性】
- ・高校の授業をまともに受けてないのでわからないです。全体的に楽しかったです。自分の発表のために調べたり、他の人の発表を聞いたりするのは勉強になりました。【文・男性】
- ・自分で課題を設定して解決するというプロセスが新鮮だった。【文・男性】
- ・ほぼ講義だったので他の授業と大差なかった。少人数なのでやや教員に質問しやすいか。【文・男性】
- ・文献の講読の際にはただ訳を当てはめるのではなく、その分野の予備知識を持ったうえで適切な言葉を選んでいかななくてはならないのが重要だと感じた。【文・男性】
- ・少人数だったため、皆で議論したり、先生と直接話をしたり出来たので良かった。【文・女性】
- ・受講者や教授との距離が近く、意見や質問、感想などの交流をしやすかった。【文・女性】
- ・海外の文学作品をじっくりとよむ、時代背景などを知るといった機会はあまりなかったもので、新鮮で面白かった。【法・女性】
- ・共同研究を行い、フェルミ推定という良い意味で法学部らしくない分野についてよく知ることができた。【法・女性】
- ・社会人の方との対話の機会が持てとても良かった。【経済・男性】
- ・小規模で教授とも交流できたのでよかった。少人数であったため様々な場所に実習に行けて貴重な体験ができた。【経済・男性】
- ・被災地を実際に訪ねてお話を聞くことができたのは、良い経験になった。【経済・男性】
- ・少人数だったため、他の履修者や担当の教員と会話する機会が他の授業よりも多く、充実していた。【理・女性】
- ・同じ分野に興味を持った優秀な他の生徒たちと議論を交わせたのはゼミならではの体験でありとても有益だった。また(これはゼミによってまちまちであろうが)担当教官が多いたので(4人ほど)、生徒たちだけでは行き詰ってしまうような高度なものはなしでも先生がたの協力を得て有益な議論を交わすことができた。【理・男性】

- ・人数が少なかったことと、みんなで話し合う機会があったこと、現場見学があったこと。【理・男性】
- ・自分で試料作成や電子顕微鏡の操作をできて嬉しかった。【理・女性】
- ・教員との距離、履修者同士の距離が近かったために議論しやすく、刺激を受けた。【理・男性】
- ・プログラミングで時間をかけて一つの作品を作るという経験は今までになかったものだったので、貴重な経験になった。プログラミングの楽しさを体感することができた。【理・男性】
- ・ゆるい感じが好きです【理・男性】
- ・教員との距離が近く、通常の講義では聞くことができない研究や研究生活について話を聞くことができたのがとても良かった。学者や研究者という存在を身近に感じることができた。【理・男性】
- ・講義形式だったのであまり違いは感じなかった【理・男性】
- ・自分がこれから専門的に関わってくることはおそらくないだろうと思われる分野だったので逆に楽しく受講できました。座学だけでなく、実際に外に出て体験したりお話を聞いて面白かったです。レポートも授業内で体験したことに基づいて書くので、普通のレポートより楽しくすんなりと書けたような気がします。【医・女性】
- ・専門の方の話を聞くことができ、また様々なことを体験できました。【工・男性】
- ・大学で受けた授業の中では教員との距離の近さが段違いだった【工・男性】
- ・内容がはるかに専門的で学んでいて実用的だと思った【工・男性】
- ・少人数制ならではの、教員と学生間のコミュニケーションが非常に良かったと感じた。【工・男性】
- ・教員と近い距離で討論することができとても刺激的だった。【工・男性】
- ・有名ではないが有用性のある学問の面白さを知れた。【工・男性】
- ・大学教授と泊り込みで話ができるのは面白かった。【工・女性】
- ・自分が興味を持っている分野のポケット・ゼミを履修することで、その分野の研究室ではどのような研究を行っているのかを、普通の講義ではわからない、非常に近い距離で知ることができた。それによって、自分が将来学び、研究したいことをつかめ、その後の大学での学習の計画や目標がより具体的になった。また、同じグループになった履修生とともに、授業時間ではない時間まで自発的に調査や研究、プレゼン作成と意見交換を行うことで、満足感を得られただけでなく、人間関係がまだあまり希薄な入学当初の時期に、親睦を深めることができた。【工・男性】
- ・少人数なので気軽に発言できるのが良かった【工・男性】
- ・専門性の高いことを教えてくださり、雄大な自然の中でフィールドワークなどを通じて、たくさんのことを学ぶことができた。なにより、数日間、他の学生と過ごすことはたいへん貴重な経験となり、とても楽しかった。受講できたことに感謝している。【工・男性】
- ・実際に研究所の見学をさせてもらえ、その分野の最先端の研究方法やその内容に触れることができ、入学してからもっとも大学生らしい勉強ができたと感じた【工・男性】
- ・予習や準備が凄く大変であったが、自分で様々なことを考察できる有意義な時間になったし、他の人のいろいろな意見が聞いて良い経験になった。【工・男性】
- ・世界最先端の研究現場を直接見ることができ、とても良かった。【工・男性】
- ・ゼミ形式でプレゼンを行うことで将来の研究活動のイメージができた。【工・男性】
- ・他の学部の人とディスカッションなどを行うことで、様々な価値観に触れることができ、更に自分が今後知識を深めていきたいと思うような事柄を見つけることができた。【農・男性】

- ・高校ではせまい分野に関して座学および実験で学習する形式でしたが、僕が履修した講義は、環境問題・食料問題に対してどのように向き合えばよいかを、各々興味のある分野から自由に考えるという形式でした。そのため、さまざまな観点からの意見を聞くことができ、すごくためになる講義であったと思います。また、先生の専門である、農業ロボットに関しても、最先端の技術を見せていただいたり、実際の農地や関連施設に連れて行っていただいたりと貴重な体験をさせていただくことができました。2回生以降はポケット・ゼミを履修できないのは残念ですが、何らかの講義でさまざまな学部学科の方と、各々の観点から発表し合えるような機会が得られたらいいなと思います。【農・男性】
- ・高校はあまり実験などをやらない学校であったので、顕微鏡を使ったり、電気泳動を行ったりなどのことができてためになった。先生やTAの方が詳しく丁寧に教えてくださり、楽しく勉強することができました。【農・女性】
- ・少人数で先生に顔と名前を覚えてもらって、その後の講演会などでも声をかけてもらえるようになったことがすごくよかった。【農・女性】

○すべての方へ質問

現在、ポケット・ゼミは1回生のみ履修可能ですが、このことについて、どう思いますか(複数回答)

